



# 関西医科大学 広報

*Kansai Medical University Public Relations*



## 建学の精神

本学は、慈仁心鏡、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

## 更なる進化を目指して— 山下学長から友田学長へバトンタッチ



記念会で挨拶を述べる山下前学長と友田新学長

## CONTENTS

法人： 山下学長退任・友田新学長就任記念会	P.2	卒後臨床研修センター： 初期臨床研修合同説明会、マイナビ2015 in Osaka出展	P.29
大学： 入試概要、解剖体追悼法要、科研費交付内定者	P.8~	同窓会： 全国に広がる同窓会支部組織	P.30
病院： 大阪府がん診療拠点病院指定	P.25	メディア情報： 教職員メディア掲載情報、河本名誉教授出版情報	P.31

法人

# 山下学長退任・友田新学長就任記念会

リーガロイヤルホテルにおいて華やかに開催



記念写真に収まる参加者



乾杯の音頭を取った田代元学長



慈仁会榊委員長から記念品が贈呈されました

5月12日(火)午後7時からリーガロイヤルホテル・タワーウイング3階「ロイヤルホール」において、野村昌作教務部長・楠本健司学生部長・中邨智之大学院教務部長を発起人とする「山下学長退任・友田新学長就任記念会」が華やかに開催されました。本学名誉教授はじめ評議員、教職員など99名が参加したこの日は野村教務部長が司会を務め、伊藤誠二副学長の開会の辞で開幕されました。

まず、山下敏夫前学長が退任挨拶で登壇し、学長就

任からの8年間を振り返りつつ新学長へのエールを述べました。また、続いて登壇した友田幸一新学長は、就任挨拶で今日の関西医科大学を築き上げた山下前学長に感謝の言葉を捧げるとともに、これからの未来像を語りました。その後、来賓祝辞に竹内脩本学客員教授・枚方市長が登壇。田代裕元学長・名誉教授が乾杯の音頭を取られ、祝宴が始まるとそこかしこで歓談の花が咲きました。

最後に慈仁会榊徳子委員長から山下前学長・友田新学長へ記念品が、生理学第一講座松田博子教授から山下前学長へ、生理学第二講座中村加枝教授から友田新学長へ、花束がそれぞれ贈呈されました。最後に松田公志副学長が閉会の辞を述べ、記念会は盛会裡に閉幕しました。



閉会后、新旧学長が参加者をお見送り

## 法 人



### 故 塚原勇先生を偲ぶ会がしめやかに営まれました

6月27日(土)午前11時からリーガロイヤルホテル・ウエストウイング2階山楽の間において、今年4月に亡くなられた故塚原勇前理事長(本学名誉教授)を偲ぶ「故塚原勇先生を偲ぶ会」がしめやかに営まれました。山下敏夫理事長をはじめ、友田幸一学長や眼科同窓会会員、関西医科大学同窓会会員など182名が参列。全員で黙祷を捧げた後、故塚原先生の経歴紹介を経て、山下理事長、友田学長、眼科同窓会高橋寛二会長、同窓会秋田光彦会長、友人代表森井外吉名誉教授、37期生代表岩坂壽二常務理事が、順に偲ぶ言葉を述べました。続いて弔電披露、ご遺族の謝辞があり、献花をもって第一部は閉会。参列者は会場内に設けられた故塚原先生の業績をたどるパネル展示を前に、思い出を語り合いました。

また、時間の都合で献花だけでも希望される方のために午後1時から会場をタワーウイング2階ゴールデンルームに移し、第二部を挙行。多くの同窓生や関係者が訪れ、故塚原先生の遺業を偲びながら生前の活躍に思いを馳せていました。



偲ぶ言葉を捧げる山下理事長



## 病態検査学講座主任教授に就任して

病態検査学講座教授 蔦 幸治



平成27年4月16日付にて、関西医科大学病態検査学講座の主任教授を拝命いたしました蔦幸治と申します。私は学生時代から病理医になろうと考えておりましたが、大学を卒業後、すぐに病理の医局には属さずに聖路加国際病院

でスーパーローテーション研修を開始しました。終了後、病理学第二講座の大学院に入学することになったのですが、縁あって間質性肺炎の病理診断の大家である齋木茂樹先生に勧められ、聖路加国際病院の病理部にて一年間修行することが出来ました。帰学後、7,12-Dimethylbenz ( $\alpha$ ) anthraceneによるラットの副腎出血機序を解明し、修了後は国立がんセンター東病棟の病理科にチーフレジデントとして入職。その後、スタッフとして中央病院にて肺・縦隔腫瘍の病理診断に従事しておりました。その間に1年間テキサスのM.D アンダーソンがんセンターの病理部へ留学することが出来ました。

がんセンターに在籍していた時代は分子標的薬であるイレッサ®の効果とEGFR変異が結びついたエポックメイキングな時代で、その後、ALK転座を有する肺癌が明らかとなり、我々のグループもRET転座肺癌を同定し、その内容がネイチャー・メディシン誌に掲載されました。このように、病理診断が、良・悪の

診断のみでなく治療法決定に重要となる時代に様々な経験することが出来ました。

病理医はドクターズ・ドクターといわれておりますが、私は、病理医は診療チームの一員として治療方針決定に関与するなど患者により近いスタンスで活躍できる病理医を育成していきたいと考えております。病理標本は治療法決定の上で重要な役割を果たしますので、検体の固定方法、染色手技などの精度管理も重要な役割の一つであると考えております。

診断病理部門も臨床検査部門も病院の運営に非常に重要な部門でありますので、全力で精度の向上に取り組んでいきたいと考えております。皆様方には、より一層のご支援ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

## — 略 歴 —

平成8年3月	関西医科大学 卒業
平成8年4月	聖路加国際病院 内科系研修医
平成10年4月	聖路加国際病院 病理診断部(内地留学)
平成10年4月	関西医科大学大学院 病理学第二講座
平成14年6月	国立がん研究センター 東病院 チーフレジデント
平成15年6月	国立がん研究センター 研究所 病理部 第二組織病理研究室 中央病院併任
平成17年10月	国立がん研究センター病院 病理科 医員
平成20年8月	M.D. Anderson Cancer Center 病理部 (Moran教授)留学
平成21年9月	国立がん研究センター病院 復職
平成23年4月	国立がん研究センター 中央病院 病理科 医長
平成27年4月	関西医科大学 病態検査学講座 主任教授

## 施設設備整備拡充寄付金の募集

関西医科大学では平成27年度の寄付金として「施設設備整備拡充寄付金」を募集しております。これは医学・医療技術の進歩に対応して教育・研究・診療の施設設備の整備・拡充を進めるためのものです。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 募集要項

1. 募集対象 本学学生の保護者、同窓会員、本学関連の個人および法人その他
2. 募集金額 1口100万円 1口未満でも申し受けます。
3. お問い合わせ先 関西医科大学法人事務局募金室  
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1  
TEL: 072-804-2146 (直通)  
FAX: 072-804-2344

平成27年4月1日から平成27年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名の掲載は控えさせていただきます

法人

## 5つ星の医科大学へ一歩、また一歩——平成26年度事業報告

平成26年度、本学の事業報告が公表されました。本学は“5つ星”の私立医科大学へ向けて、昨年度も様々な改革を実行。帰属収支差額は前年同期比+5億円の約58億円を計上し、着実に成果を上げつつあります。本学はこうした成果に慢心することなく、これからも引き続きたゆまぬ努力を重ねていきます。

教  
育

「医学教育改革」

- ・臨床実習改革による医師育成能力強化
- ・共用試験CBT対策の強化
- ・研究マインド育成プログラムの構築
- ・シミュレーションセンターの機器拡充
- ・国際認証評価受審のための小委員会設置

診  
療

「診療力の充実」

- ・診療教授(6名)の任用
- ・電子カルテシステムの更新
- ・スーパー医療クラークの増員
- ・無料送迎バスの路線拡充
- ・香里病院の1床減床による選定療養費の不要化
- ・天満橋総合クリニックの改修準備完了

研  
究

「研究力強化」

- ・研究トークランチの定期開催
- ・研究医長会議の定期開催
- ・臨床研究支援センターの設立準備(平成27年4月設立)

法人

「滝井病院リニューアル事業計画」の遂行

「看護学部設置準備室」の設置

### 平成26年度・27年度の内部監査 内部監査室長 稲垣千代子

平成26年度内部監査を下記の項目で実施し、平成27年度内部監査計画を理事長に提出して承認された。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努める。

1. 平成26年度内部監査(年次監査)

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言した。

- 1)「公的研究補助金の管理状況(平成25年度対象)」
- 2)「公的研究補助金管理のモニタリング(平成26年度対象)」
- 3)「研究指導体制(指導要領、カリキュラム、データ管理、研究倫理教育)」
- 4)「労働時間管理(労働基準監督署指摘事項の改善状況)」

2. 平成27年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：公的研究費の管理状況(平成26年度対象)  
監査対象部署：大学事務部研究課及び関連部署

監査日程：平成27年6月～7月

- 2) 監査項目：医療安全活動(医療事故防止への取り組み)

監査対象部署：附属3病院、天満橋総合クリニック

監査日程：平成27年8月～9月

- 3) 監査項目：情報システム監査(業務上の機能性、安定性、安全性)

監査対象部署：法人全部署

監査日程：平成27年10月～11月

- 4) 監査項目：公的研究費管理のモニタリング(平成27年度対象)

監査対象部署：大学事務部研究課及び関連部署

監査日程：平成27年12月～平成28年2月

### 平成26年度インシデント報告集計

医療安全管理センターでは、このほど附属3病院の平成26年度インシデント報告を集計しました。総報告数は、9,311件で患者への影響レベル別にした件数は、右の表のとおりです。平成26年度は新しいインシデントレポートシステムを導入した影響により、平成25年度に比べて、総報告件数が減少しました。インシデント報告は、個人を責めるものではなく、事故の内容を検証し再発防止に役立てるためのものです。今後とも積極的な報告をお願いします。

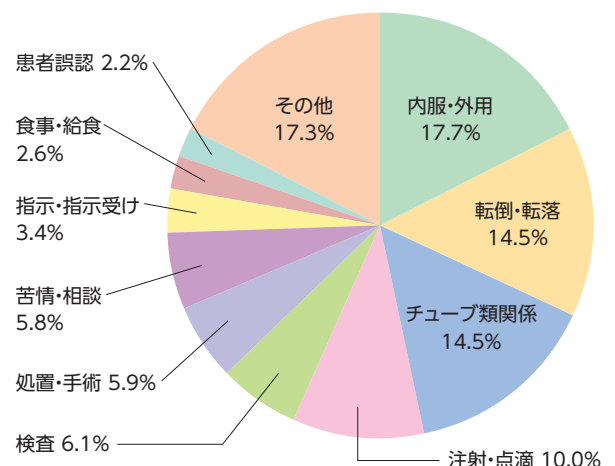
#### 「内服・外用」「転倒・転落」「チューブ類関係」「注射・輸血」で全体の約57%

インシデント内容は、(1)内服・外用、(2)転倒・転落、(3)チューブ類、(4)注射・輸血に関するものが多く、これらで全体の約57%を占めています。なお、内服・外用は昨年度に比べて減少していますが、その他の3項目は前年度と大きな変化はありません。当センターでは、今後も附属3病院の事例検討を通じて、情報や対策の共有を図り、大学全体の医療安全向上を図ります。

患者への影響レベル別インシデント報告数

事故が発生する前に気がついていた	事故は発生したが患者への実害はなかった	観察強化などが必要であるが、処置や治療は不要であった	処置や治療を要した	総計
1,337件	4,554件	2,146件	1,274件	9,311件

発生の主な要因



## 附属滝井病院リニューアル事業計画 進捗報告



外壁パネルの取り付けが本格化し、棟上げ式も挙行  
 今後はいよいよ内装工事が始まります

※写真は7月時点

建屋の構築は上層階へと移り、下層階では外壁パネルの装着がスタートしました。だんだんと建物らしさが見えてきた新本館は、来年5月の開院を目指して引き続き、上層階の建築と地下配線作業、内装工事などが進行する予定です。

### リニューアル工事ギャラリー (6月時点)



外壁パネルの装着が始まり、建物らしくなってきました



地下は配線工事の準備が進んでいます



4階部分の床デッキを組み込み中

### リニューアル工事定点写真



5月時点



6月時点



新本館完成予想図

## 主な出来事

今号掲載期間の主な出来事をご紹介します。(記事掲載は太字)

法人	5月12日	山下学長退任・友田新学長就任記念会	
	6月27日	故塚原勇先生を偲ぶ会	
大学	4月1日	臨床研究等倫理講習会	
	4月9日	1学年合宿研修	
	4月12日	日本医学会総会(学生企画)	
	4月13日	大学院入学宣誓式	
	4月22日	医療安全講習会	
	5月1日	臨床研究等倫理講習会	
	5月1日	遺伝子組み換え実験講習会	
	5月15日	第85回解剖体追悼法要・遺骨返還式	
	5月18日	学長賞授与式	
	5月21日	2015年度RI講習会	
	5月25日	医療安全講習会	
	5月28日	平成27年度留学生歓迎会	
	6月1日	第16回学園都市ひらかた推進協議会	
	6月1日	大阪府警感謝状贈呈式	
	6月3日	Vestweber教授来日	
6月6日	第34回関西医大白菊会総会		
6月8日	ベトナム175病院関係者来日		
	6月17日	大学院教育ワークショップ	
病院	6月20日	新任教員教育ワークショップ	
附属 枚方病院	6月17日	近畿厚生局情報交換会	
	4月6日	枚方地区新入職オリエンテーション(医療安全)	
	5月28日	第11回北河内医療安全フォーラム	
	6月5日	第27回臨床検査セミナー	
	6月8日・10日	エンゼルケア研修会	
附属 滝井病院	6月12日	平成27年度第1回褥瘡対策セミナー	
	6月16日	春季消防訓練	
	4月1日	大阪府がん診療拠点病院指定	
	5月14日	第3回健康まちライブラリー	
	5月22日	刺股・護身術実技訓練	
附属 香里病院	5月28日	循環器救急フォーラム	
	5月30日	ミニ市民公開講座	
	6月5日	北河内血液感染症フォーラム	
香里病院	4月18日	第10回寝屋川市医師会・香里病院地域連携の会	
	5月16日	市民公開講座	
附属看護 専門学校	5月12日	第35期生戴帽式	
	5月13日	防犯訓練	
卒後 臨床研修 センター	5月13日	附属3病院合同臨地実習指導者研修	
	5月17日	マイナビレジフェス大阪	
	5月30日	平成28年度採用初期臨床研修合同説明会	
	6月13日・20日	附属3病院合同実地指導者研修	

山下学長退任・友田新学長就任記念会

塚原先生を偲ぶ会

創立記念日

刺股・護身術実技訓練

第35期生戴帽式

## 大 学

## 平成28年度医学部入試概要

## 【推薦入試】

募集人員：10名  
 募集区分：特別枠のみ、専願  
 願書受付期間：平成27年11月2日(月)～11月12日(木)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者で全体および6教科の評定平均値が共に4.0以上  
 ②心身共に健全で、人物・学力に優れ、学校長が推薦する者。  
 ※特別枠…卒業後本学で初期研修を行い、専門研修以降は本学指定の医師不足地域・診療科に勤務する医師となるための枠。

## 【センター試験利用入試】

募集人員：15名  
 募集区分：一般枠  
 願書受付期間：平成27年12月21日(月)～平成28年1月15日(金)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、その他文部科学大臣が指定した者  
 第1次試験日：《大学入試センター試験日》  
 平成28年1月16日(土)～1月17日(日)  
 第1次試験合格者発表日：平成28年2月10日(水)

## 【一般入試・前期】

募集人員：85名  
 募集区分：一般枠 ※大阪府地域枠含  
 ※若干名、特別枠を募集する場合がある  
 願書受付期間：平成27年12月21日(月)～平成28年1月20日(水)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、その他文部科学大臣が指定した者

選抜方法：

- 第1次試験：入学者選抜学力検査実施教科・科目  
 (1)数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B  
 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。  
 (2)外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・  
 コミュニケーション英語Ⅱ  
 コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・  
 英語表現Ⅱ

## 【一般入試・後期】

募集人員：7名  
 募集区分：一般枠 ※大阪府地域枠含  
 願書受付期間：平成28年2月5日(金)～平成28年2月25日(木)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、その他文部科学大臣が指定した者

選抜方法：

- 第1次試験：入学者選抜学力検査実施教科・科目  
 (1)数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B  
 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。

選抜方法：

- 第1次試験：出願書類をもとに書類選考  
 第2次試験：第1次試験の合格者に実施  
 (1)小論文  
 (2)適性検査(数理的問題、英文問題含む)  
 (3)面接(集団・個別)  
 第1次試験結果通知日：平成27年11月19日(木)  
 第2次試験日：平成27年11月22日(日)  
 第2次試験場所：枚方学舎  
 第2次試験合格者発表日：平成27年11月27日(金)

選抜方法：

- 第1次試験科目：  
 国語：「国語」(近代以降の文章のみ)  
 数学：『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』の2科目必須  
 理科：「物理」「化学」「生物」から2科目選択  
 英語：「英語」(リスニング含む)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成28年2月14日(日)  
 第2次試験場：枚方学舎  
 第2次試験合格者発表日：平成28年2月18日(木)

- (3)理科：『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』の3科目から2科目選択。(試験場で問題配布後、選択)

(4)小論文

- 第1次試験日：平成28年1月30日(土)  
 第1次試験場所：  
 大阪会場：インテックス大阪  
 東京会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター  
 名古屋会場：TKPガーデンシティ名古屋新幹線口  
 福岡会場：南近代ビル  
 第1次試験合格者発表：平成28年2月10日(水)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成28年2月14日(日)  
 第2次試験場所：枚方学舎  
 第2次試験合格者発表：平成28年2月18日(木)

- (2)外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ  
 コミュニケーション英語・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ

- (3)理科：『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』の3科目から2科目選択。(試験場で問題配布後、選択)

(4)小論文

- 第1次試験日：平成28年3月5日(土)  
 第1次試験場所：枚方学舎  
 第1次試験合格者発表：平成28年3月11日(金)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成28年3月15日(火)  
 第2次試験場所：枚方学舎  
 第2次試験合格者発表：平成28年3月18日(金)

詳細については、平成28年度学生募集要項をご確認ください。



## 大 学

## 入試相談会参加予定表

8月以降に参加する予定の入試相談会について、ご紹介します。

日 時	名称	会場	主催
8月7日(金)12:00	私立医科系大学進学相談会2015	福岡ファッションビル	教育広報社
8月8日(土)11:30	私立医科大学合同入試説明相談会	帝京大学(東京)	日本私立医科大学協会
8月12日(水)12:00	私立医科系大学進学相談会2015	ミッドランドホール(愛知)	教育広報社
8月17日(月)12:00	私立医科系大学進学相談会2015	広島ガーデンパレス	教育広報社
8月29日(土)11:30	私立医科大学合同入試説明相談会	兵庫医科大学	日本私立医科大学協会
9月12日(土)11:30	私立医科大学合同入試説明相談会	久留米大学(福岡)	日本私立医科大学協会
9月12日(土)11:00	私立医科系大学進学相談会2015	日本科学未来館(東京)	教育広報社

## 平成27年度大学院入学式を挙行 26名が新たな一歩を踏み出す



誓いの言葉を宣誓する新入生代表

4月14日(月)午後3時から枚方学舎4階中会議室において、平成27年度大学院入学宣誓式が挙行されました。この日は友田幸一学長はじめ中邨智之大学院教務部長、内科学第一講座野村昌作教授、微生物学講座藤澤順一教授、形成外科学講座楠本健司教授ら教職員が見守る中、26名(男子12名、女子14名)の新入生が出席。全員の氏名が読み上げられた後、友田学長が新入生の大学院生活に対する祝意と期待を表す式辞を述べました。また、中邨大学院教務部長の挨拶に引き続き、新入生代表がこれから始まる大学院生活に向けた誓いの言葉を宣誓。大学院の教員紹介を経て、入学式は無事に閉式しました。

式典終了後、大学院生活における注意点などの説明会があり、26名の新入生は晴れがましい表情で今後の大学院生活に思いを馳せていました。

## 平成28年度関西医科大学大学院医学研究科学生募集要項(博士課程)

〈募集人員〉…届出書類提出中  
・医科学専攻 計50名(前後期の合計)

〈願書受付期間〉  
前期 平成27年7月29日(水)～平成27年8月19日(水)  
後期 平成28年1月6日(水)～平成28年1月27日(水)

## 〈試験期日、試験科目及び場所〉

試験期日		試験科目	場所
前期：平成27年9月5日(土) 後期：平成28年2月6日(土)	午前9時30分～12時(筆記試験)	外国語(英語)	関西医科大学枚方学舎 1階「試験・実習室」
	午後	専攻別授業科目	当日通知

## 〈合格発表日〉

前期	平成27年10月14日(水)	正午に本学大学院掲示板に掲示するとともに、願書に記入された合格通知場所宛に通知する。
後期	平成28年2月18日(木)	

出願書類など詳細は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/admissions/index.html>)をご覧ください。

## 大 学

## 第85回解剖体追悼法要をしめやかに挙行

臨済宗建仁寺派大本山・建仁寺において



焼香し、祈りを捧げる友田学長

5月15日(金)午前10時から京都市東山区の臨済宗建仁寺派大本山・建仁寺において、「第85回解剖体追悼法要」が執り行われました。篤志により医学の発展に寄与するため献体された故人のご遺族や白菊会会員、友田幸一学長をはじめ教職員、解剖実習を終えた3学年学生などが参列。厳かな雰囲気の中挨拶に立った友田学長は、医学の発展に貢献された尊い遺志に感謝の意を捧げました。その後は僧侶による読経に続き、参列者が焼香。それぞれの想いを祈りに込めていました。

また、追悼法要を終えた午前11時から同所において「遺骨返還式」を挙行。友田学長から全14柱のご遺骨が各々のご遺族に返還されました。併せて、文部科学大臣からの感謝状が贈呈され、この日の法要・式典は滞りなく終わりました。

## 第34回関西医大白菊会総会を開催



挨拶する藤澤会長

6月6日(土)午後1時から、枚方学舎加多乃講堂を主会場(第1講義室へ同時中継)として第34回関西医大白菊会総会が、白菊会会員205名のほか、友田幸一学長をはじめ解剖学、病理学の各講座関係教員の出席を得て開催されました。

第1部では黙祷の後、本学の混声合唱団「コールクライス」のリードのもと「白菊会の歌」を斉唱。続いて友田学長と白菊会藤澤直子会長が挨拶し、同会役員及び本学関係者の紹介に続いて、白菊会の行事報告、会計報告及び会計監査報告があり、それぞれ承認されました。また、卒寿を迎えられた方3名にお祝いの品が贈られ、最後に出席者全員で記念撮影が行われました。

第2部は「堂迫千草オンステージ」と題して、白菊会堂迫副会長の歌や、藤澤会長のリードにより客席全員で歌うなど、参加者は楽しいひとときを過ごし、笑顔での散会となりました。

## 岡本勉名誉教授が平成27年春の叙勲で瑞宝小綬章を受章



集合写真に収まる祝賀会出席者

4月29日(水)、内閣府から「平成27年春の叙勲」が発令され、本学からは岡本勉名誉教授が瑞宝小綬章を受章。教育研究分野における優れた行いのある人物として叙勲されました。

これを受けて、6月13日(土)午後4時から附属枚方病院13階レストランのぞみにおいて、友田幸一新学長就任と併せてカヌー部主催による叙勲祝賀会が開催されました。当日は岡本名誉教授のご家族をはじめ、カヌー部四方仲間顧問ほか多数が参加。岡本名誉教授の叙勲を祝して万歳三唱を行うなど、祝賀会は大いに盛り上がりを見せました。

## 大 学

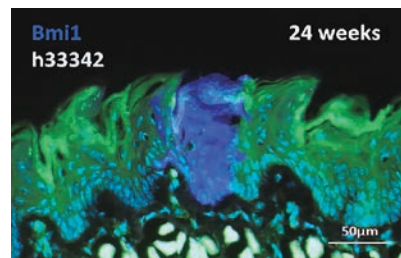
## 関西医大医学会優秀賞を受賞して

内科学第三講座 田中 敏宏



この度、名誉ある関西医科大学医学会賞優秀賞を受賞でき、誠に光栄に思っております。平成22年に大学院(消化器内科学)へ入学し、翌年平成23年4月より前年に病理学第一講座教授に就任されました上野博夫教授の元で研究を行う事となりました。大学院に入ったころさまざまな臓器で初めての幹細胞マーカーが毎月のように報告され、幹細胞分野は非常に競争の激しい分野でもありました。病理学第一講座で扱うRainbowマウスはこの研究室独自のデータを発信できる有用なデバイスであり、そこから得られる情報から世界で初めての発見を出せるとの上野教授の熱意とともにわくわくしていた事も思い出されます。またその研究分野が活発な反面、世界では同様の研究が行われており、先に報告されてしまうと今進めている研究内容の価値が全く無くなり中止しなければならないという事も経験し、基礎研究の厳しさや難しさも同時に身をもって学びました。

そのような中、消化管上皮を中心に様々なマーカーとその陽性細胞から分化する細胞と上皮形成の関係を解析している過程で、幸運にも口腔・舌上皮にBmi1陽性細胞の発現を確認し、その追跡の結果長期間上皮を供給していると分かった事で今回の論文への道筋ができました。初めて蛍光顕微鏡でBmi1陽性細胞からの長期細胞供給を確認した時は非常に嬉しく、この研究に長時間没頭していくようになりました。この研究を通して、上皮の維持機構等の基礎研究の積み重ねが今後癌のメカニズム解析など臨床応用につながっていくと学べた事が最大の収穫であったと思います。実験の組み立てや解析などはじめての事が多く、研究に費やした時間は非常に有意義なものであり、今後研究を行う際にも役立つものと考えています。最後に本研究が遂行できた事に対し、この場をお借りして上野博夫教授、岡崎和一教授に厚く御礼申し上げます。



## 大阪府警察本部・本部長から、本学及び法医学講座へ感謝状



感謝状を手に、記念撮影に収まる友田学長(右)と辻警視(左)

6月1日(月)午前10時から枚方学舎13階応接室において、本学及び法医学講座に対する大阪府警察本部樋口真人本部長からの感謝状贈呈式が執り行われました。これは、大阪府下5大学に対して委嘱している司法解剖や死亡時画像診断など45年間に及ぶ本学の協力について感謝の意を表するとともに、これを顕彰するためのものです。

この日は大阪府警察本部刑事部主席検視官辻祥隆警視と同本部刑事総務課検視官室松永真樹警部補が来学し、法医学講座赤根敦教授が同席する中、友田幸一学長に感謝状を手渡しました。また、日頃の解剖嘱託や各種研修での講演、担当者教育などの協力に対して感謝の言葉を述べ、記念撮影を行いました。

## 枚方市の発展を目指して“知を結集” 第16回学園都市ひらかた推進協議会開催

6月1日(月)午後3時から、枚方学舎4階中会議室において本学友田幸一学長、枚方市竹内脩市長をはじめ、関西外国語大学、大阪歯科大学、摂南大学、大阪国際大学、大阪工業大学の代表者も出席し、第16回学園都市ひらかた推進協議会が開催されました。平成26年度の事業報告と決算、平成27年度の事業計画(案)と予算(案)について審議。参加各大学で実施されたひらかた市民大学の開催報告や次年度の開催案など、枚方市が学園都市として発展するために活発な議論が交わされました。

また、協議会終了後に枚方学舎の施設見学が行われ、出席者はシミュレーションセンターで実際の器具を触ったり、屋上庭園から淀川河川敷を眺めたりと、キャンパス内を興味深く見学。その後カフェテリアで行われたティータイムでは、活発な情報交換が行われました。



集合写真に収まる友田学長(左から4人目)、竹内市長(同5人目)ら協議会メンバー

## Karl-Heinz Vestweber教授が来学 臨床教授委嘱状の交付式を挙行了しました



委嘱状を手にしたVestweber教授  
(前列左から3人目)と友田学長(同4人目)

6月3日(水)、ケルン大学附属レーバークーゼン総合病院外科学講座 Karl-Heinz Vestweber教授が来学され、午後5時30分から枚方学舎13階応接室において本学臨床教授委嘱状交付式が挙行了されました。交付式には、Vestweber教授のご家族も臨席。野村昌作教務部長や医学教育センター木下洋センター長、外科学講座権雅憲教授と里井壯平准教授、国際交流センター西山利正センター長が同席する中、友田幸一学長から臨床教授委嘱状が直接手渡されました。

また、午後6時から枚方学舎1階第1講義室において講演会が行われ、登壇したVestweber教授は「The German system of medical students education and what we think is important」と題し、講演。ドイツにおける医学教育の紹介や国外臨床実習の様子、レーバークーゼン総合病院の診療体制・実績などを紹介しました。講演終了後は質疑応答の時間が設けられ、日本とドイツの医学生気質の違い、学修のモチベーションを高める方法など、様々な質問が飛び出しました。

## ベトナムと日本の架け橋に—— ベトナム175軍病院から視察団が来学

6月8日(月)、ベトナム・ホーチミン市にあるベトナム175軍病院 NGUYEN HONG SON 病院長、アンシン病院 TRAN THI THANH MAI 副病院長ら5名が来学し、友田幸一学長を表敬訪問しました。SON病院長は友田学長との会談の席において、ベトナムの医療水準向上を目指して本学との交流を活性化させたいと述べました。また、民族楽器を模した記念品がSON病院長から友田学長へ手渡され、和やかなムードで会談は終了しました。

続いて一行は、ベトナムから留学生を受け入れている医化学講座伊藤誠二教授を訪問。挨拶を交わした後、枚方学舎3階歴史資料室やコミュニケーションセンターを見学しました。また、附属枚方病院では手術部を皮切りに、病理部、NICU、放射線治療部、健康科学センターなどを視察。特に放射線治療部では、リニアックや高線量率小線源治療装置など最先端機器に興味を示し、案内の医師へ熱心に質問していました。



記念写真に収まるSON病院長(左)と友田学長(右)

## 留学生歓迎会を開催 国籍を超えて、交流の花が咲く



5月28日(木)午後6時30分から、枚方学舎4階カフェテリアにおいて西山利正国際交流センター長司会のもと、留学生歓迎会が開催されました。40名を超える学生・教職員が参加した今年の歓迎会では、生理学第二講座中村加枝教授の挨拶に続き、今年3月まで国際交流センター長を務めた友田幸一学長が登壇。日本の医学教育にもグローバルライゼーションの波が押し寄せている現状を踏まえ、本学も引き続き国際化を推進すると述べました。

その後は歓談を挟んで留学生全員が挨拶を行い、時折覚えてたの日本語を交えながら出身地や本学での研究内容、今後の意気込みなどを話しました。また、この日は本学の国外臨床実習を経験したり希望している日本人学生も参加し、英語でスピーチ。その後も留学生らと積極的に情報を交換し、親交を深めました。大きな盛り上がりを見せた歓迎会は、木下洋医学教育センター長の挨拶、留学生の集合写真撮影などを経て、盛会のうちに終了しました。

## 大 学

## 女性研究者特集

## 関西医科大学は、女性の力で輝く。

5月27日(水)、ロート製薬株式会社と女性健康科学研究会が共同で行っている研究助成の対象者が発表され、形成外科学講座、覚道奈津子助教と本学大学院医学研究科医科学専攻代謝機能制御系健康科学、福島八枝子研究医員が、それぞれ選ばれました。これを受けて、5月30日(土)午後1時からロート製薬グランフロント大阪オフィスにおいて、同研究会総会と研究助成授賞式が行われ、研究内容の発表の後、助成目録と副賞が授与されました。

そこで、今回は本学の臨床医学講座に所属しながら研究活動を続け活躍している2名の若手女性研究者にスポットを当て、普段の研究活動や日頃の思いなどをうかがいました。



形成外科学講座  
覚道 奈津子 助教

## —今回助成が決定した研究内容は？

自己脂肪由来の幹細胞を利用した、乳がん手術後の乳房再建方法の開発です。脂肪幹細胞は採取が簡単で、専用抽出機器を使えば培養が不要で移植が可能、安全性と生着率も高いなど、最も実用化に近い幹細胞です。乳房以外にも、顔面など様々な部位の再建にも応用が期待されています。今後は学内倫理委員会と認定再生医療等委員会の審議を受ける予定です。

## —研究活動におけるハードルは？

幹細胞研究には様々な法的ハードルがあり、数多くの手続きが必要です。それだけに組織のサポート体制がカギを握るのですが、その意味で本学の場合は今年4月に設置された臨床研究支援センターの存在がとても大きいです。また、小さな子どもを2人育てている最中で仕事と育児の両立に悩

む毎日ですが、医局の先生方に助けて頂いて続けられている状況です。

## —女性研究者にメッセージを

私が今回受賞できたのは、周囲の方々の理解と支援のおかげです。夢や目標に向かって諦めないで粘り強く続けていくことが大事だと思っています。周囲への感謝を忘れず、研究に対する真摯な姿勢を持ち続けたいと思います。一緒に頑張りましょう。



## —今回助成が決定した研究内容は？

マイオカインと呼ばれる骨格筋由来サイトカインを使って、“運動”の治療効果を医学的に証明すること。そのために“健康になった”という身体の変化を、客観的に計測する方法を開発しています。ただ、人の体は千差万別。同じ運動強度でも性別・年齢や心肺機能の違いによって結果が異なるので、そこが難しいところです。



## —研究活動を始めたきっかけは？

もともとスポーツ医学に興味を持って医師を志望しました。初期臨床研修後は整形外科医としてキャリアをスタート。ところが臨床経験を重ねると、さらに臨床を極めるにはより学問的なアプローチが必要だと実感しました。研究にも挑戦して、臨床と研究の双方を生かせる医師になりたいと思ったのです。それが、大学院入学のきっかけです。

## —女性研究者にメッセージを

約10年たってやっとスポーツ医学の仕事も頂けるようになりました。利害関係なくただ好きで続けているといつか光が当たる事もあるのだと知りました。他人を憧れたり比べたりするのも必要ですが、ほどほどにして、自分を信じて才能を開花させることに全力を注いで欲しい。そして、海外を視野に挑戦して欲しいです。



大学院医学研究科学専攻  
福島 八枝子 研究医員

## ■「女性健康科学研究会」とは——

“いつまでも心身ともに健やかで美しくありたい”。女性健康科学研究会は、そうした女性たちの願いに応えるために発足した組織です。あらゆる視点から女性の健康に影響を及ぼす原因を調査・研究し、疾患予防ならびに治療法の体系化、その社会普及により、健康と福祉の向上に寄与することを目的としています。その実現に向けて、研究者はもちろん、医療従事者・保健衛生などの活動者に対して、毎年研究助成を行っています。

## 大 学

## 新任教員教育ワークショップを開催 本学医学教育のレベルアップを図る



ワークショップ冒頭、本学について説明する友田学長

6月20日(土)午後1時から、枚方学舎2階第3講義室において友田幸一学長がディレクターを、野村昌作教務部長がサブディレクターを務め、新任教員教育ワークショップが開催されました。今回のワークショップはチーフタスクフォースとして教務委員会FD小委員会副委員長鎌方安行教授が、タスクフォースとして同FD小委員会委員木下洋学長特命教授・伊藤量基准教授が参加し、友田学長の挨拶で開幕。参加者全員による“授業での工夫”を交えた自己紹介の後、野村教務部長が「本学のカリキュラムについて」をテーマに講演しました。その後、木下特命教授が「本学のチュート

リアル教育」を、鎌方教授が「本学におけるOSCEとAdvanced OSCE」を、講演。受講者は熱心に聴き入りました。

また、教務委員会臨床実習小委員会谷川昇委員長が「本学のクリニカル・クラークシップ」と題し、臨床実習の現状を解説。続いて行われたパネルディスカッションも大きな盛り上がりを見せました。最後に野村教務部長から参加者に修了証が手渡され、ワークショップは閉幕しました。

## 第一回臨床研究等倫理講習会開催について

臨床研究支援センター 教育研修部門 杉江 知治 副センター長

5月1日(金)午後6時から附属枚方病院13階講堂において、第1回臨床研究等倫理講習会が附属滝井病院とテレビ回線を結んで開催されました。これは、臨床研究支援センターが「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の施行を受けて実施しているもので、157名の教職員が受講。友田幸一学長の挨拶の後、臨床研究支援センター岡崎和一センター長が臨床研究支援センターの活動と役割について解説しました。その後、京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター角栄里子助教が「新しい研究倫理指針で研究責任者・研究者が気をつけたいポイント」について講演。さらに、倉田宝保副センター長、三島健顧問が臨床研究や利益相反についての講演を行いました。

なお、第2回の講習会として生物統計など新たな内容を加えた講習会を10月28日(水)に予定しておりますので、本学の臨床研究に携わる全ての教職員は最低年1回以上の受講をお願いします。

## 研究力強化に向けて 「研究医長制度」の取り組みをご紹介します

本学は昨年度、研究力強化のために「研究医長制度」を新たにスタートさせました。それを受けて、平成26年6月2日(月)には臨床系講座から選出された研究医長による第1回研究医長会議を開き、以後毎月定期的に同会議を開催しています。また、臨床系研究室セミナーも同時開催。臨床系講座が取り組んでいる研究課題を発表し、講座の枠を越えた共同研究の足がかりとなりました。また、今年2月18日(水)には本誌既報(Vol.29)の通り「臨床研究計画書の書き方」を、大学院講座及び臨床研究支援センターと共催。多数の研究者が参加しました。

これら研究医長制度の導入と、それをベースとした精力的な活動の結果、科学研究費助成事業の獲得件数も平成26年度比で7件増加と、成果を挙げました。さらに今年度は、臨床系研究室セミナーと基礎系講座で行われている研究トークランチとの交流も検討するなど、今後も更なる研究力強化、及び研究環境の改善・充実を図る予定です。

## ■平成27年度研究医長一覧

内科学第一講座	伊藤 量基 准教授
内科学第二講座	塚口 裕康 講 師
内科学第三講座	内田 一茂 講 師
心療内科学講座	水野 泰行 助 教
神経内科学講座	金子 鋭 准教授
精神神経科学講座	吉村 匡史 講 師
小児科学講座	河崎 裕英 講 師
外科学講座	海堀 昌樹 准教授
胸部心臓血管外科学講座	金田浩由紀 講 師
脳神経外科学講座	吉村 晋一 准教授
整形外科講座	串田 剛俊 准教授
形成外科学講座	森本 尚樹 講 師
皮膚科学講座	水野 可魚 講 師
腎泌尿器外科学講座	木下 秀文 准教授
眼科学講座	山田 晴彦 准教授
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	神田 晃 講 師
放射線科学講座	河 相吉 准教授
産科学・婦人科学講座	都築 朋子 助 教
麻酔科学講座	廣田 喜一 准教授
臨床検査医学講座	榎田 緑 講 師
救急医学講座	室谷 卓 助 教

## 大 学

文部科学省・日本学術振興会関係

## 平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
新学術領域研究	2	5,700,000	1,710,000	7,410,000
基盤研究(A)	1	12,000,000	3,600,000	15,600,000
基盤研究(B)	2	10,100,000	3,030,000	13,130,000
研究活動スタート支援	1	1,000,000	300,000	1,300,000
特別研究員奨励費	1	1,100,000	330,000	1,430,000
合 計	7	29,900,000	8,970,000	38,870,000

(単位:円)

## 平成27年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
基盤研究(C)	61	68,500,000	20,550,000	89,050,000
若手研究(B)	24	26,400,000	7,920,000	34,320,000
挑戦的萌芽研究	10	12,500,000	3,750,000	16,250,000
合 計	95	107,400,000	32,220,000	139,620,000

(単位:円)

## 平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
基盤研究(B)	5	18,600,000	5,580,000	24,180,000
合 計	5	18,600,000	5,580,000	24,180,000

(単位:円)

## 平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型) 継続	生理学第二	中村 加枝	教 授	ストレスによる報酬・遅延情報処理の変化のメカニズム:セロトニン系の役割	3,400,000	1,020,000
新学術領域研究 (研究領域提案型) 新規	生体情報部門	松田 達志	准教授	mTORC1シグナルを介した胸腺環境維持機構の解明	2,300,000	690,000
基盤研究(A) 新規	病理学第一	上野 博夫	教 授	舌・食道扁平上皮がん克服に向けた幹細胞階層構造解析と治療標的分子の探索	12,000,000	3,600,000
基盤研究(B) 新規	生理学第二	中村 加枝	教 授	ストレスにより認知過程が変容するメカニズムの探求-分界条床核の役割	5,200,000	1,560,000
	生理学第二	磯田 昌岐	准教授	自己と他者の報酬情報の脳内処理機構の解明	4,900,000	1,470,000
研究活動 スタート支援 継続	心療内科学	首藤 由江	助 教	神経障害性疼痛の情動的側面に対する新規診断法の開発	1,000,000	300,000
特別研究員奨励費 継続	病理学第一	田中 敏宏	研究員	食道上皮細胞の維持・再生・腫瘍増殖を担う幹細胞の同定	1,100,000	330,000

(単位:円)

## 大 学

## 平成27年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	整形外科	菅 俊光	准教授	慢性期脳卒中片麻痺患者の痙縮治療を契機に変容する障害体験のモデル化	700,000	210,000
	心理学	西垣 悦代	教 授	日本におけるヘルスコーチングの可能性：コーチング心理学に基づく基盤の確立	600,000	180,000
	生物学	平野 伸二	教 授	平衡覚伝導路形成における細胞接着分子プロトカドヘリン9の役割の解明	1,300,000	390,000
	麻酔科学	山口 龍二	研究員	デオキシリボースとABT-263による細胞死誘導のメカニズム	400,000	120,000
	解剖学第二	丸山 正人	講 師	グリオーマ癌幹細胞選択的遺伝子発現システムの構築による新規脳腫瘍治療戦略	1,200,000	360,000
	衛生学	佐々木 豊	准教授	新規c-kit低発現マウス造血幹細胞の特性と老化における役割の解明	1,300,000	390,000
	医化学	片野 泰代	講 師	慢性疼痛発生維持を担う新規神経障害性疼痛関連分子の解析	1,300,000	390,000
	法医学	橋谷田真樹	講 師	次世代シーケンサーを用いた死後microRNAの網羅的検索とその法医学的应用	1,000,000	300,000
	内科学第二	岩崎 真佳	講 師	多能性ヒトMesoangioblastのoriginと効果的心筋分化誘導法の解明	800,000	240,000
	内科学第三	福井 寿朗	講 師	pSmad2/3L-Thrに着目した消化管上皮幹細胞・癌化・再生機構の検討	1,100,000	330,000
	衛生学	藤岡 龍哉	講 師	新規CD34抗原陰性白血病幹細胞の同定とニッチ機能を阻害する抗体療法の開発	1,300,000	390,000
	小児科学	石崎 優子	准教授	視線解析を用いた高機能自閉症スペクトラム障害の早期発見法と社会適応訓練法の開発	1,100,000	330,000
	小児科学	金子 一成	教 授	微少変化型ネフローゼ症候群における標的療法の開発	1,100,000	330,000
	放射線科学	河 相吉	准教授	マウス発がんモデルにおける抗腫瘍剤誘導アポトーシスと腫瘍糖代謝能のイメージング	1,000,000	300,000
	放射線科学	狩谷 秀治	准教授	大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果の医療利用：血栓溶解効果での評価	900,000	270,000
	放射線科学	谷川 昇	教 授	肝細胞癌に対するRI標識リポドールを用いた新しい放射線塞栓療法の開発	700,000	210,000
	外科学	深山 紀幸	助 教	糖尿病に着目した腹部大動脈瘤患者の観察研究	1,000,000	300,000
	麻酔科学	稲田 武文	非常勤講師	プロポフォール・デクスメトミデインの5-リボキシゲナーゼ依存性免疫修飾の研究	1,100,000	330,000
	麻酔科学	西 憲一郎	講 師	生体内酸素代謝がHIF-1を介して細胞間接着装置の機能調節に与える影響の探究	800,000	240,000
	腎泌尿器外科学	松田 公志	教 授	磁場発生装置を使用した軟性尿管鏡位置計測システム及びナビゲーションシステムの開発	100,000	30,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	岩井 大	准教授	老人性難聴治療に向けた胸腺移植および胸腺移植の検討	900,000	270,000
	病理学第二	義澤 克彦	講 師	食品由来抗酸化物質を用いた網膜色素変性症動物モデルでの新規治療法の確立	500,000	150,000
	薬理学	赤間 智也	准教授	マトリックス蛋白質LTBP2の機能と眼疾患への関与	1,200,000	360,000
	眼科学	三木 克朗	助 教	新生血管阻害剤を付加したセラミック微小球による新しい加齢黄斑変性に対する治療	200,000	60,000
	医学教育センター	菅谷 泰行	准教授	世代間交流に基づく「認知症ケアリング教育」のためのプログラムと教材の開発	600,000	180,000
	大学情報センター	渡辺 淳	准教授	日本語自然文で記述された診療記録解析のための言語処理アルゴリズムの構築と評価	500,000	150,000
物理学	影島 賢巳	教 授	ナノスケール誘電緩和計測法の開発と動的物性計測の新地平	1,200,000	360,000	



## 大 学

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	解剖学第一	和田 幸恵 (平原幸恵)	助 教	質量顕微鏡によるオリゴデンドロサイト分化マーカーの可視化	1,000,000	300,000
	微生物学	田中 正和	助 教	HTLV-1感染ヒト化マウスを用いた腫瘍発生過程における遺伝子変異蓄積機序の解明	1,300,000	390,000
	病態検査学	保坂 直樹	講 師	再生胸腺移植を併用した新しい骨髄移植法による癌治療	1,200,000	360,000
	病態検査学	吉賀 正亨	助 教	質量分析イムノアッセイを用いた内因性ジギタリス産生分泌機序と高血圧発症機序の解明	800,000	240,000
	健康科学	木村 稔	教 授	長期・連続・自動生体情報記録による疾患別遠隔予防・治療システムの臨床効果の研究	900,000	270,000
	内科学第三	岡崎 和一	教 授	自己免疫性肺炎の病態形成における自然免疫系異常に関する研究	1,400,000	420,000
	内科学第二	宮坂 陽子	講 師	心エコー指標による心房細動患者の心血管イベント発症と予後予測に関する検討	900,000	270,000
	病理学第一	熊野 恵城	准教授	肺がんの起源の違いに基づいたがん幹細胞を標的とした新たな治療標的の探索	1,500,000	450,000
	内科学第二	塚口 裕康	講 師	ゲノム情報に基づく腎尿管間質性障害の新しい系統的診断フローの構築	1,500,000	450,000
	放射線科学	津野 隆哉	助 教	ヒト癌幹細胞に対するIFN- $\alpha$ 賦活BID遺伝子/放射線集学的治療の検討	1,000,000	300,000
	産科学・婦人科学	岡田 英孝	教 授	ヒト子宮内膜における転写因子Hand2の機能解析とその臨床的意義	1,300,000	390,000
	眼科学	尾辻 剛	講 師	網膜色素上皮下の脈絡膜新生血管が治療抵抗性を示す原因の解明	2,100,000	630,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	人工心肺手術周術期の血小板由来microRNAによる炎症惹起作用機序の解明	1,000,000	300,000
	衛生学	中塚 隆介	助 教	マウス歯髄由来Sca-1陽性微小細胞の幹細胞性の検証	1,300,000	390,000
基盤研究(C) 新規	物理学	楠本 邦子 (竹本邦子)	准教授	軟X線マイクロCT法による植物プランクトンの細胞外代謝物が含有する有機物の定量	1,200,000	360,000
	病理学第二	塚 貴司	講 師	乳癌制御に効果的な海洋性キサントフィルの探索研究	2,500,000	750,000
	解剖学第一	若林 毅俊	非常勤講師	血管柄付き神経移植による視機能の回復	1,300,000	390,000
	生理学第二	則武 厚	助 教	自己の報酬価値に影響する他者の報酬情報表現の解読一視床下部外側野の役割	1,900,000	570,000
	解剖学第一	高森 康晴	研究員	ニューロンおよびグリア細胞における核膜構築タンパク質の多様性	1,000,000	300,000
	微生物学	藤澤 順一	教 授	HTLV-1感染ヒト化マウスを用いた未発症感染キャリア成立要因の解析	1,500,000	450,000
	内科学第一	野村 昌作	教 授	Tリンパ球由来マイクロパーティクルによる呼吸器関連アレルギー疾患の新規病態評価法	1,700,000	510,000
	医化学	西田 和彦	助 教	投射ニューロン特異的カルシウムイメージングを用いた疼痛評価系の確立	1,600,000	480,000
	医化学	松村 伸治	講 師	In vivoイメージングによる疼痛維持機構におけるプロスタノイドの役割の可視化	1,900,000	570,000
	公衆衛生学	三宅 真理	講 師	携帯型情報通信技術を用いた介護者のための身体負担量評価システムの開発	1,500,000	450,000
	内科学第三	内田 一茂	講 師	1型自己免疫性肺炎における好塩基球を介した自然免疫反応の役割	1,300,000	390,000
	内科学第三	西尾 彰功	准教授	肺炎発症抑制に関与する制御性B細胞の解析と治療応用の検討	1,100,000	330,000
	精神神経科学	加藤 正樹	准教授	バイオマーカーに基づく無作為割付比較試験による混合性うつ病の治療アルゴリズム構築	400,000	120,000
	放射線科学	中谷 幸	助 教	CT透視の術者被曝を低減するシールドの臨床評価	1,100,000	330,000

## 大 学

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	外科学	海堀 昌樹	准教授	癌根治手術のための光プローブを用いた迅速定量病理診断法の開発	1,100,000	330,000
	外科学	松井 康輔	講師	インドシアニングリーン・ラクトソームを用いたがん診断・治療技術の開発	1,200,000	360,000
	外科学	権 雅憲	教授	根治不能肝腫瘍に対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の臨床応用研究	1,200,000	360,000
	脳神経外科学	浅井 昭雄	教授	グリオーマ癌幹細胞を標的とした樹状細胞療法の開発に関する基礎研究	1,800,000	540,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	神田 晃	講師	One airway, one diseaseの機序解明と新しい治療戦略	1,200,000	360,000
	形成外科学	楠本 健司	教授	無細胞多血小板血漿の検証と実験的検討	900,000	270,000
若手研究(B) 継続	生理学第一	林 美樹夫	助教	膵臓外分泌細胞に存在する陰イオンチャンネル蛋白の構造機能協関	400,000	120,000
	放射線科学	米虫 敦	助教	血管内皮カドヘリンを介したタイトジャンクション制御の経動脈的治療への応用	700,000	210,000
	救急医学	早川 航一	助教	心原性院外心肺停止症例に対する集学的治療効果に関する研究	1,000,000	300,000
	小児科学	木全 貴久	講師	重症紫斑病性腎炎(HSPN)に対するシクロスポリンの有効性とその機序に関する検討	800,000	240,000
	放射線科学	吉田 理絵	助教	経皮的管腔臓器バイパス術の臨床導入：乳糜胸水に対する胸管一下大静脈バイパス術	900,000	270,000
	形成外科学	畔 熱行	助教	電圧負荷式冷蔵庫(水感庫)における組織保存の検討	1,200,000	360,000
	病理学第一	吉田 真子	講師	多色細胞系譜マウスを用いた膵島形成機構の解明および膵島作製に関する研究	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小林 良樹	助教	好酸球性副鼻腔炎合併喘息の病態解明とAirway Medicine確立への第一歩	1,300,000	390,000
	医化学	井上 明俊	助教	慢性的なかゆみにおける中枢神経の可塑性を制御する分子機構、神経機構の解析	1,500,000	450,000
	衛生学	松岡 由和	助教	ヒト造血幹細胞におけるCD34抗原の発現意義とその機能解析	1,000,000	300,000
	精神神経科学	西田圭一郎	助教	うつ病治療応用のための神経回路変化に着目した経頭蓋直流電気刺激の最適化と臨床検証	500,000	150,000
	形成外科学	覚道奈津子	助教	脂肪幹細胞と低酸素プレコンディショニング法を用いた血管・皮膚再生療法の開発	700,000	210,000
	病理学第一	厚海 奈穂	研究員	乳癌幹細胞の由来の解明 — 乳腺幹細胞可視化マウスの生体深部イメージングを通して	1,300,000	390,000
若手研究(B) 新規	生理学第二	安田 正治	助教	嫌悪情報による行動制御の神経機構の解明	1,700,000	510,000
	麻酔科学	上野 裕	任期付助教(専修医)	大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果を利用したソノポレーションの評価	600,000	180,000
	精神神経科学	齊藤 幸子	助教	拡散テンソル画像解析による強迫性障害の精神分析的治療法治療効果判定	1,600,000	480,000
	脳神経外科学	岩田 亮一	助教	B7 familyを標的にした膠芽腫の癌幹細胞に対する新規治療法の開発	1,800,000	540,000
	麻酔科学	鈴木 堅悟	助教	代謝モード解析を基軸とした麻酔薬が膵β細胞のインスリン分泌へ与える影響の研究	1,900,000	570,000
	産科学・婦人科学	都築 朋子	助教	血管新生と低酸素誘導因子HIF-1に着目した子宮内膜症の新規治療戦略	900,000	270,000
	精神神経科学	吉川 匡宣	助教	CIHHV-6感染者におけるぶどう膜炎発生の割合とその特徴について	300,000	90,000
	形成外科学	尾川 武史	研究員	低酸素による脂肪幹細胞の活性化メカニズムの解明と皮弁虚血再生治療への応用	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	澤田 俊輔	助教	慢性歯周炎の歯槽骨吸収におけるIL-1βとCX3CR1/FKNの役割	1,100,000	330,000

## 大 学

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究(B) 新規	生物学	岡野 圭子 (今井圭子)	助 教	シアノバクテリア時計蛋白質KaiC複合体による細胞内時計の安定性制御の解析	1,500,000	450,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	助 教	LFA-1接着“時間”制御機構の一分子解析	1,600,000	480,000
挑戦的萌芽研究 継続	救急医学	鎌方 安行	教 授	臓器・組織壁応力を考慮した新しい循環管理法の開発に関する研究	600,000	180,000
	薬理学	中邨 智之	教 授	弾性線維再生の研究	1,400,000	420,000
	医化学	伊藤 誠二	教 授	二光子顕微鏡を用いた痒みの脊髄後角in vivoイメージングと情報伝達機構の解明	1,000,000	300,000
	医化学	下條 正仁	講 師	ハイスループットスクリーニングを用いた小細胞肺癌の新規診断法と治療法開発	1,300,000	390,000
	麻酔科学	広田 喜一	准教授	酸素含有脂質微小粒子による生体内酸素ホメオスタシス維持法開発を目指した基礎研究	1,000,000	300,000
挑戦的萌芽研究 新規	病理学第一	上野 博夫	教授	次世代細胞系譜追跡法の開発による幹細胞探索	1,800,000	540,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	新規樹立Cre発現マウスを利用したマスト細胞機能制御の分子基盤解明	1,600,000	480,000
	麻酔科学	岩井 鉄平	助 教	新規がん組織培養法を用いた麻酔薬のがん組織表現型と遺伝子型への影響の検討	1,700,000	510,000
	形成外科学	森本 尚樹	講 師	インジェクタブル人工脂肪の開発	1,200,000	360,000
	救急医学	室谷 卓	助 教	補体沈着による赤血球の機能低下が重症病態に与える影響についての研究	900,000	270,000

(単位: 円)

## 平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 継続	形成外科学	森本 尚樹	講 師	細胞成長因子保持型人工真皮を用いた細胞治療および細胞誘導治療	2,700,000	810,000
	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教 授	Rap1シグナルと哺乳類Hippoによる細胞接着と増殖の統合的制御	4,000,000	1,200,000
	医化学	伊藤 誠二	教 授	蛍光タンパク発現マウスを用いた感覚系入出力における脊髄神経回路網の3次元機能解析	3,500,000	1,050,000
	放射線科学	播磨 洋子	准教授	分子生物学的手法を用いた進行期子宮頸癌の放射線治療予後予測システムの構築	4,100,000	1,230,000
	内科学第二	塩島 一朗	教 授	Insulin/IGFの協調作用を介した心機能調節機構の解明	4,300,000	1,290,000

(単位: 円)

## 平成26年度科学研究費助成事業交付決定(追加分)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合 計
新学術領域研究 (研究領域提案型)	生理学第二	中村 加枝	教 授	ストレスによる報酬・遅延情報処理の変化のメカニズム: セロトニン系の役割	3,400,000	1,020,000	4,420,000
研究活動スタート 支援	心療内科学	首藤 由江	助 教	神経障害性疼痛の情動的側面に対する新規診断法の開発	1,100,000	330,000	1,430,000
特別研究員奨励費	病理学第一	田中 敏宏	研究員	食道上皮細胞の維持・再生、腫瘍増殖を担う幹細胞の同定	1,200,000	360,000	1,560,000
決定額(追加分)合計					5,700,000	1,710,000	7,410,000

(単位: 円)

## 大 学

## 平成26年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学から転入の代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(C)	生物学	平野 伸二	教授	平衡覚伝導路形成における細胞接着分子プロトカドヘリン9の役割の解明	1,200,000	360,000	1,560,000
研究活動スタート支援	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	澤田 俊輔	助教	高度な骨分化能と抗炎症作用を有する幹細胞を利用した新規歯周組織再生療法の確立	1,000,000	300,000	1,300,000
決定額(追加：他大学から転入の代表者)合計					2,200,000	660,000	2,860,000

(単位：円)

## 平成26年度科研費(追加：分担者)一覧(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
新学術領域研究	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	名古屋大学 宮田卓樹 教授	動く細胞と場のクロストークによる秩序の生成	1,455,000	436,500	1,891,500
新学術領域研究	分子遺伝学部門	片貝 智哉	講師	大阪大学 宮坂昌之 名誉教授	二次リンパ組織ストローマ細胞の性状と機能	8,400,000	2,520,000	10,920,000
基盤研究(B)	小児科学	石崎 優子	准教授	東京医科歯科大学 丸光恵 教授	思春期・若年成人がん患者・サバイバーへの医療・教育・就労支援に関する国際比較研究	400,000	120,000	520,000
基盤研究(B)	外科学	権 雅憲	教授	大阪電気通信大学 登尾哲史 教授	GPUの深度画像並列処理機能による肝臓手術ナビゲーションシステムの製作とその評価	200,000	60,000	260,000
基盤研究(B)	外科学	海堀 昌樹	准教授	大阪電気通信大学 登尾哲史 教授	GPUの深度画像並列処理機能による肝臓手術ナビゲーションシステムの製作とその評価	200,000	60,000	260,000
基盤研究(B)	形成外科学	森本 尚樹	講師	京都大学 河合勝也 准教授	機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	600,000	180,000	780,000
基盤研究(B)	腎泌尿器外科学	松田 公志	教授	大阪大学サイバーメディアセンター 黒田嘉宏 准教授	多層計測と非線形柔軟物モデルの協調による実時間臓器追跡に関する研究	750,000	225,000	975,000
基盤研究(B)	腎泌尿器外科学	吉田 健志	助教	大阪大学サイバーメディアセンター 黒田嘉宏 准教授	多層計測と非線形柔軟物モデルの協調による実時間臓器追跡に関する研究	750,000	225,000	975,000
基盤研究(C)	解剖学第一	若林 毅俊	非常勤講師	岡山大学 小阪淳 教授	2本の血管柄付き末梢神経移植による網膜-視覚中枢投射の再構築	100,000	30,000	130,000
基盤研究(C)	医化学	伊藤 誠二	教授	大阪工業大学 芦高恵美子 教授	NIPSNAPIによるミトコンドリアの品質管理制御と疼痛慢性化との関連	50,000	15,000	65,000
基盤研究(C)	大学情報センター	仲野 俊成	准教授	兵庫医科大学 宮本正喜 教授	オントロジ技術を用いた内視鏡診断学習システムの開発	50,000	15,000	65,000
基盤研究(C)	外科学	杉江 知治	診療教授	杏林大学 上野貴之 講師	乳癌治療における間質反応とエネルギー代謝に関する研究	200,000	60,000	260,000
基盤研究(C)	外科学	山本 大悟	講師	東北大学 山口拓洋 教授	PRO-CTCAE日本語版の開発と普及に関する研究	150,000	45,000	195,000
基盤研究(C)	外科学	渋谷 卓	診療教授	東京医科歯科大学 井上芳徳 講師	閉塞性動脈疾患における歯周病治療の有効性について	100,000	30,000	130,000
基盤研究(C)	外科学	駒井 宏好	診療教授	東京医科歯科大学 井上芳徳 講師	閉塞性動脈疾患における歯周病治療の有効性について	100,000	30,000	130,000
基盤研究(C)	形成外科学	森本 尚樹	講師	滋賀医科大学 岡野純子 准教授	糖尿病性皮膚潰瘍の発生子防一皮膚バリア機能破綻機序の解明と新規治療法の開発	100,000	30,000	130,000
基盤研究(C)		友田 幸一	学長	滋賀大学 芦谷道子 准教授	小児の聴覚処理障害に対する評価と教育臨床心理的支援	330,000	99,000	429,000
基盤研究(C)	麻酔科学	広田 喜一	准教授	田附興風会 足立健彦 部長	肺胞低酸素が低酸素誘導性遺伝子発現変化を通じて肺に及ぼす影響の細胞生物学的検討	700,000	210,000	910,000
決定額(追加：分担者)合計						14,635,000	4,390,500	19,025,500

(単位：円)

## 大 学

## 厚生労働省関係

## 平成27年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野))	衛生学	藺田 精昭	教授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関—移植用臍帯血有効利用への応用—	4,124,000	1,000,000	5,124,000

(単位:円)

## 平成26年度厚生労働科学研究委託費(追加:分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学	田中 正和	助教	HTLV-1予防ワクチンの開発に関する研究	国立感染症研究所 部長 長谷川 秀樹	4,000,000
難治性疾患実用化研究事業	微生物学	竹之内徳博	准教授	HAMの革新的な医薬品等の開発促進に関する研究	聖マリアンナ医科大学 准教授 山野 嘉久	900,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4・RDの発症・予後・治療反応性に関わる、末梢血および病変組織におけるリンパ球サブセットの検討	京都大学 教授 三森 経世	1,200,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	神田 晃	講師	重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	福井大学 教授 藤枝 重治	1,500,000
革新的がん医療実用化研究事業	放射線科学	谷川 昇	教授	最新のIVRによる症状緩和についての研究	国立がん研究センター 中央病院 病院長 荒井 保明	1,000,000
	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	国立がん研究センター 東病院 病院医長 仁保 誠	1,000,000
	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	未治療原発不明癌に対する次世代シーケンスを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第Ⅱ相試験	近畿大学 教授 中川 和彦	1,000,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究	杏林大学 准教授 長島 文夫	1,000,000
	外科学	井上健太郎	准教授	高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab 併用化学療法の意味に関する臨床試験	静岡県立静岡がんセンター 部長 寺島 雅典	1,100,000
委託費(追加:分担者)合計						12,700,000

(単位:円)

## 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(追加:分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	京都大学 教授 千葉 勉	3,000,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東邦大学 教授 鈴木 康夫	500,000
	外科学	濱田 吉則	診療教授	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	九州大学 教授 田口 智章	200,000
	外科学	濱田 吉則	診療教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	東北大学 教授 仁尾 正記	150,000
	眼科学	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	岡山大学 教授 白神 史雄	500,000
難治性疾患等実用化研究事業(難治性疾患実用化研究事業)	微生物学	竹之内徳博	准教授	HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発	聖マリアンナ医科大学 准教授 山野 嘉久	500,000
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)	小児科学	石崎 優子	准教授	慢性疾患に罹患している児の社会生活支援ならびに療育生活支援に関する実態調査およびそれら施策の充実に関する研究	東京大学 教授 水口 雅	500,000
がん対策推進総合研究事業(革新的がん医療実用化研究事業)	外科学	海堀 昌樹	准教授	希少がんに対するウイルス療法の実用化臨床研究	東京大学 教授 藤堂 具紀	800,000
委託費(追加:分担者)合計						6,150,000

(単位:円)

## 大 学

## 平成26年度厚生労働科学研究委託費(分担者)一覧(代表者管理分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
革新的がん医療 実用化研究事業	外科学	柳本 泰明	講 師	切除不能膀胱癌に対する標準治療の確立に関する研究	杏林大学 教授 古瀬 純司	—
	脳神経外科学	浅井 昭雄	教 授	予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究	国立がん研究センター 中央病院 科長 成田 善孝	—
		神崎 秀陽	常務理事	HPVワクチンの有効性と安全性の評価のための大規模疫学研究	新潟大学 教授 榎本 隆之	—
	産科学・婦人 科学	村田 紘未	助教	HPVワクチンの有効性と安全性の評価のための大規模疫学研究	新潟大学 教授 榎本 隆之	—

(単位:円)

## 平成26年度厚生労働科学研究費補助金(分担者)一覧(代表者管理分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策 研究事業(難治性疾 患政策研究事業)	内科学第三	岡崎 和一	教 授	難治性膝疾患に関する調査研究	近畿大学 教授 竹山 宜典	—
	小児科学	藤井 喜充	講 師	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	九州大学 教授 田口 智章	—
	小児科学	金子 一成	教 授	先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄腔遺残、総排泄腔外反、MRKH症候群)におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	新潟大学 教授 窪田 正幸	—

(単位:円)

## その 他 公 的 研 究 費

## 平成26年度文部科学省、経済産業省、厚生労働省、JST、NEDO 委託費等採択一覧

※委託費等採択額:直接経費¥118,498,037— 間接経費¥19,748,559— 合計¥138,246,596—

新規/継続	事業名	所管組織等	研究課題名	研究代表者等	共同研究者、研究分担者	直接経費	間接経費	合計
新規	研究開発施設共用等促進費補助金(橋渡し研究加速ネットワークプログラム 拠点外シーズB) ※拠点機関 京都大学	文科省	高圧処理母斑皮膚および自家培養表皮を用いた先天性巨大色素性母斑の新規治療法の開発	形成外科学講座 森本 尚樹 講師	京都大学、国立循環器病研究センター、 大阪工業大学	14,508,954	—	14,508,954
継続	科学技術試験研究委託事業 次世代がん研究戦略推進プロジェクト	文科省	がん幹細胞を標的とした根治療法の開発	大阪大学	衛生学講座 藪田 精昭 教授	1,818,182	181,818	2,000,000
継続	科学技術試験研究委託事業 脳科学研究戦略推進プログラム	文科省	経頭蓋磁気刺激(TMS)とモノアミン神経系動態のモニタリングに基づく脳幹-大脳皮質ネットワークダイナミクスの解明と磁気刺激治療の最適化	生理学第二講座 中村 加枝 教授	大阪大学、東北大学	11,332,308	3,399,692	14,732,000
新規	厚生労働省 厚生労働科学研究委託事業 革新的がん医療実用化研究事業	厚労省	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療法の開発	形成外科学講座 森本 尚樹 講師	京都大学、国立循環器病研究センター、 大阪工業大学	12,717,000	6,900,000	19,617,000
継続	(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CREST	JST	接着制御分子破綻による自己免疫発症機構とIgG4関連全身疾患との関連解析	分子遺伝学部門 木梨 達雄 教授	内科学第三講座 岡崎 和一 教授	25,187,000	7,556,100	32,743,100
継続	(独)科学技術振興機構 戦略的国際科学技術協力推進事業	JST	内向き整流性K+チャネルへのバイオメディシン	生理学第一講座 岡田 誠剛 准教授	メキシコ国立自治 大学(メキシコ)	809,494	80,949	890,443
新規	(独)科学技術振興機構 戦略的国際科学技術協力推進事業	JST	計算論的アプローチを用いた実学習、フィクティブ学習、および観察学習の神経機構の解明	生理学第二講座 磯田 昌岐 准教授	オットー・フォン・ ゲーリケ大学マグ デブルク(ドイツ)	500,000	50,000	550,000
新規	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発プロジェクト	NEDO	麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発	慶応義塾大学	整形外科科学講座 リハビリテーション科 長谷 公隆 診療教授	6,320,000	1,580,000	7,900,000
継続	経済産業省 医工連携事業 産業化推進事業	経産省	高性能骨導素子を用いた骨導補聴器の開発 ※民間企業3社と本学との共同推進プロジェクト	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座 友田 幸一 教授 (プロジェクトリーダー)	・形成外科学講座 楠本 健司 教授 ・公衆衛生学講座 三宅 真理 講師	45,305,099	—	45,305,099

(単位:円)

## 大 学

## その他外部資金

## 平成26年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成26年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等を下記の研究者が贈呈された。

研究助成金額合計：¥76,215,000—

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 平成26年度研究助成	物理学 楠本 邦子 准教授	硫黄K吸収線のXANES分析法による底質環境評価法の確立	800,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2014年度特定研究助成	病理学第一 上野 博夫 教授	食道上皮幹細胞・食道がん幹細胞の階層構造の決定による次世代分子標的薬開発への基盤形成	50,000,000
公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター 研究助成金	内科学第二 神島 宏 准教授	冠動脈疾患患者に対するビタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験(REAL-CAD)	50,000
公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター 研究助成金	内科学第二 大谷 肇 准教授	冠動脈疾患患者に対するビタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験(REAL-CAD)	440,000
一般財団法人 藤井節郎記念 平成26年度研究助成金	外科学 濱田 吉則 診療教授	小腸移植におけるIschemic preconditioningと上皮成長因子の効果	2,000,000
公益財団法人 大阪腎臓バンク 平成26年度腎疾患研究助成	小児科学 北尾 哲也 大学院生	特発性ネフローゼの病因研究	500,000
グラクソ・スミスクライン株式会社 平成26年度GSKジャパン研究助成	内科学第一 佐竹 敦志 講師	遺伝子組み換えトロンボモジュリンによるGVHD予防効果についての検討	2,000,000
公益財団法人 森永奉仕会 平成25年度研究奨励金	小児科学 樋口 隆弘 大学院生	就学前と思春期の自閉症スペクトラム障害児の視線滞留時間と視線パス	450,000
公益財団法人 光科学技術研究振興財団 平成26年度研究助成金	病理学第一 上野 博夫 教授	超多色キメラ法(5色から35色)によるマウス幹細胞発生・維持過程の解析システムの構築	1,500,000
公益財団法人 ダノン健康栄養財団 平成27年度学術研究助成金	小児科学 山内 壮作 病院助教	母獣の低カルシウム栄養が、仔の成獣期に高血圧や慢性腎疾患をもたらすか?	2,000,000
公益財団法人 がん集学的治療研究財団 一般研究助成金	外科学 里井 壯平 准教授	腹膜転移を有する膵癌に対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の治療効果を検証するための第II相多施設共同臨床試験	1,000,000
公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター 研究助成金	外科学 柳本 泰明 講師	切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するTS-1通常投与方法とTS-1隔日投与方法のランダム化第II相試験(膵癌隔日投与方法研究)	40,000
公益財団法人 島津科学技術振興財団 平成26年度研究開発助成金	生理学第二 安田 正治 助教	情動系を介した行動制御における神経メカニズムの解明	1,000,000
大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所 平成26年度共同利用研究(UVSOR施設利用)(後期)	物理学 楠本 邦子 准教授	走査型透過軟X線顕微鏡による放射線耐性Deinococcus属細菌の観察	—
公益財団法人 日本応用酵素協会 平成26年度全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成	内科学第三 豊永 貴彦 大学院生	腸管マクロファージの細胞内鉄を標的とした炎症性腸疾患の病態解明	1,000,000
NPO法人J-CaP研究会 更新研究費	腎泌尿器外科学 松田 公志 教授	限局性前立腺癌に対するホルモン療法の有効性に関する観察研究	350,000
一般社団法人 JBCRG 2014年度JBCRG-04研究費	外科学 杉江 知治 診療教授	JBCRG-04(CREATE-X)術前化学療法、原発巣手術施行後、病学的に腫瘍が残存している乳がん患者を対象にした術後補助療法におけるCapecitabine単独療法の検討—第III相比較試験	840,000
公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 第23回(2014年度)国内共同研究助成	心療内科学 神原 憲治 講師	在宅での心身モニタリングによるセルフケア医療システムの検討	1,290,000
公益財団法人 先進医薬研究振興財団 平成26年度(第13回)循環医学分野一般研究助成金	内科学第二 塩島 一郎 教授	Akt-mTORシグナルによる心機能調節機構の解明	1,000,000
大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所 平成27年度共同利用研究	医化学 片野 泰代 講師	casin1-KOマウスを活用した精神疾患の中間表現型の解明	—
公益財団法人 喫煙科学研究財団 平成26年度研究助成	産科学・婦人科学	喫煙婦人の子宮内環境と付随する産婦人科疾患	2,000,000
公益財団法人 内藤記念科学振興財団 女性研究者研究助成金	形成外科学 覚道 奈津子 助教	脂肪幹細胞と自己血由来増殖因子を用いた皮膚・軟部組織再生とその作用機序の解明	2,000,000
徳島大学疾患酵素学研究センター 平成27年度「酵素学研究拠点」共同研究	分子遺伝学部門 木梨 達雄 教授	胸腺細胞の動態制御と選択機構	—
徳島大学疾患酵素学研究センター 平成27年度「酵素学研究拠点」共同研究	薬理学 中邨 智之 教授	質量分析法によるlysyl oxidase の酵素活性部位の検出と活性化機構の解明	—
公益財団法人 がん集学的治療研究財団 研究助成金	外科学 岩本 慈能 講師	JFMC38-0901[pTNM stageII直腸癌症例に対する手術単独療法及びUFT/PSK療法のランダム化第III相比較臨床試験	5,000
公益信託 成茂神経科学研究助成基金 平成27年度研究助成金	生理学第二 安田 正治 助教	情動系を介した行動制御における神経メカニズムの解明	350,000
公益財団法人 車両競技公益資金記念財団 平成27年度助成金	薬理学 中邨 智之 教授	動脈弾性板の形成・破壊の分子機構とその動脈疾患における役割	4,600,000
国立大学法人 東京大学医科学研究所 平成27年度共同研究	外科学 海堀 昌樹 准教授	ヒト肝細胞がんに対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の開発研究	—
ロート製薬株式会社 第6回女性健康科学研究会助成医学研究	健康科学 福島 八枝子 大学院生	骨格筋代謝制御因子を用いた女性サルコペニア肥満に対する各種運動療法効果の検討	500,000
ロート製薬株式会社 第6回女性健康科学研究会助成医学研究	形成外科学 覚道 奈津子 助教	女性の乳がん術後乳房変形に対する幹細胞を用いたあたらしい再建法の開発～移植モデルの確立と効率的な細胞移植法の検討～	500,000

(単位：円)

## キャンパスライフ

## 第29回日本医学会総会2015関西 学生企画において本学学生が活躍

今春京都を中心に開催された第29回日本医学会総会2015関西において実施された「学生企画」において、本学の田原慎治君(5学年※)・白神裕士君(4学年※)が『医療とIT分科会：2050年の医療』に、上田貴之君(3学年※)が『医療人養成制度分科会：医療系学部学生自らが医療人養成に関わるということ』に参加しました。そこで今回は、発表を終えての感想を聞きました。(※…学年はいずれも2015年3月末時点)

## ●田原 慎治君

「医学会総会という場で自分たちの考えを述べる事が出来て貴重な経験となりました。今回一番感じた事は、人と人とのつながりの大切さ。他大学、他学部の学生にとどまらず、医療とは異なる分野の第一線で働く方々と意見交換やコンテンツ制作ができた事は、自身の財産になったと思います。この経験と人脈を活かして今後も医療と医学に貢献したいです」

## ●白神 裕士君

「今回一番価値があったのは、メンバーとの出会いです。今でも毎日交流があるほどです。また、有名企業の方など普段なら知り合えない医療系以外の方々との出会いもありました。最優秀賞は逃しましたが、我々が1番のプレゼンをしたと今でも胸を張って宣言できます。それだけのことを練って、やりきりました。このような機会を得られたことに感謝しています」

## ●上田 貴之君

「当初は何をすればいいのかも分からない状況でした。みんなで模索していく中で、最重要要素となったのは他大学・他学部の学生で構成されたメンバーの存在。様々な視点から意見を聞くことができました。学生は未熟かも知れませんが、学生だからこそできることもあると思います。また、今回の経験をそのまま終わらせず、今後の活動につなげていくつもりです」

## 6年間の医学部生活に向けて 1学年合宿研修を実施



友田学長を中心に、全員で記念撮影

4月9日(木)・10日(金)、ウェスティンホテル淡路において1泊2日の日程で1学年合宿研修が実施されました。これは学生が、これから医師を目指す人間としてふさわしい心構えや、患者さんなど外部の人々に対する接し方を学ぶと同時に、同級生との絆を深めることで6年間の医学部学生生活に備えるためのカリキュラムの一環です。1日目は開会式に続いて、外部講師による接遇の実技講習や医学教育センター木下洋センター長の講演があり、その後チームに分かれて“目指す医師像とこの一年間の過ごし方”についてディスカッションを行いました。夕刻からは記念写真の撮影を挟んで新入生歓迎会を兼ねた懇親会を開催。122名の1学年学生間だけでなく、教職員とも親交を深めました。2日目には1日目のディスカッションの成果をプレゼン。優秀チームには木村稷学生副部長から賞品が手渡されました。また、続いて行われたレクリエーションも各グループが創意工夫を凝らして1つの作品を完成させることができ、学生は満足そうに帰路につきました。

## 学長賞表彰式を挙行 “スマートフォンの活用法”で受賞

5月18日(月)午前11時45分から枚方学舎4階中会議室において、学長賞表彰式が挙行されました。今回は、今年4月に行われた1学年合宿研修で出された“スマートフォン活用法の提案”という課題に対し、特に優秀な案を提出した大村裕樹君を表彰するもの。木村稷学生副部長、影島賢巳教務副部長が出席した表彰式では、友田幸一学長から大村君へ賞状と副賞が手渡されました。なお、大村君の提案内容は以下の通りです。

## ■『スマートフォンの活用法』(要旨)

スマートフォンは個人が保有するもので、多くのデータとインターネット接続機能を持っている。

これらの特性を活かす方法は、第一に救急搬送の際に救急車が現場へ到着する前に、救急隊員へ既往症や血液検査などの健康情報を伝えられるようにすること。これにより病院側も可能性の高い疾患を予測し、当直医師・スタッフの手配、手術室の事前準備などができ、急性疾患の救命率が高くなる。

第二に、患者が自身のカルテをスマートフォンに保存しておくこと。北欧では医師が患者のカルテを共有しており、災害の際は担当でない患者でも診ることができる。これを取り入れ、東日本大震災のようなケースで医師が患者のデータを閲覧できれば有効活用でき、応援医師も地元かかりつけ医の判断を待つことなく積極的に行動できる。



表彰状を手に、記念撮影に収まる大村君(左から二人目)



## 病 院

## 附属枚方病院

## 初期消火や避難誘導を万全に 附属枚方病院で春季消防訓練



屋内消火栓を使い、真剣な面持ちで放水を行う看護師

6月19日(金)午後3時30分から附属枚方病院において、春の消防訓練が実施されました。今回の訓練は火災発生時の通報や初期消火、患者さんの避難誘導確認を目的とし、12N病棟の病室からの出火を想定。同病棟の医師や看護師をはじめ、事務職、設備担当者、出火直上階である枚方病院13階レストラン「のぞみ」の店長らが参加しました。

訓練では、火災を発見した看護師が「火事だ!」と大きな声を張り上げて周囲に火災の発生を知らせると、医師や看護師が参集。各病室の患者さんを避難場所である地下に誘導し、消火器や屋内消火栓を用いた初期消火に取り組みました。また、地下のドライエリアでは消火器や屋内消火栓の使用方法に関する講習も行われ、看護師らは火元に見立てたパイロンを的に、真剣な面持ちで放水に挑んでいました。

## 大切な医療安全、楽しく学ぶ 新入職員対象に「オリエンテーション」



チーム全員で紙の輪を作り、コミュニケーションの重要性を体感する参加者

4月9日(木)午前9時から枚方学舎加多乃講堂において、平成27年度枚方地区新入職員を対象とした医療安全に関するオリエンテーションが開催され、研修医や看護師、医療技術職、事務職の計171名が受講しました。

オリエンテーションは前・後半に分けて実施。前半は医療安全管理部の宮崎浩彰副部長が講師となり医療安全についての総論を講演した後、グループ全員で紙の輪を作ることを通じてコミュニケーションやチーム力の重要性を体験する「チームの鎖」と名付けられたグループワークが実施されました。後半では同部の一森幸一課長が、患者からの苦情やクレームをテーマに講演しました。

参加者からは「他職種と意見交換を行うことができ、異なる意見が出て学びが深まった」「様々に工夫された講義で、難しい内容でも楽しく理解することができた」などの評価があり、医療安全に対する理解を深めていました。

## 故人とご遺族に尊厳ある対応を 『エンゼルケア研修会』開催



マネキンを用いてエンゼルメイクに挑戦

宇屋氏の講義に聴き入る受講者

6月10日(水)正午から附属枚方病院13階講堂において、今年度入職した看護師を対象にエンゼルケア研修会が開講されました。これは、亡くなられた方や、ご遺族への対応を学ぶために看護部が実施しているものです。この日はエンバーマー(遺体の保存・修復処置「エンバーミング」を行うスペシャリスト)として活躍する株式会社公益社首都圏エンバーミングセンター宇屋貴センター長が講師として招かれました。

冒頭、エンバーミングの基礎知識に関する映像を視聴し、続いて宇屋氏が講義。死亡時看護フローにもとづいてNGワードや態度の注意点などを解説する中で、大切な人の死に直面して現実を受け入れられないご遺族に“故人と向き合う時間”を用意してあげることの大切さなどを解説しました。その後もマネキンを用いたエンゼルメイク(死化粧)やロールプレイなどを行い、受講者は真剣に取り組んでいました。

## 病 院

## 附属滝井病院

## 附属滝井病院が大阪府がん診療拠点病院に指定



滝井病院と大阪府がん診療拠点病院指定書

4月1日付けで、附属滝井病院が“大阪府がん診療拠点病院”に指定されました。この指定は、専門的ながん診療機能の充実とがん医療水準の向上を目的に、大阪府が創設したものです。我が国に多い肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がんを中心に診療する病院として、大阪府がん診療拠点病院選定委員会による様々な審査をクリアし、指定されました。また、滝井病院は今回の指定を受けて新たに「がん治療・緩和ケアセンター」を設置。がん治療、および緩和ケア機能を集約化し、病院全体でがん患者の治療と精神的ケアをサポートするチーム・アプローチの確立を目指すことで、診療のレベルアップと連携強化を実現します。

滝井病院は、設立以来80年以上にわたって地域医療に貢献してきましたが、今後も英知を集結してスタッフ丸となり、地域のがん診療に少しでも貢献するために精力的に活動していきます。

## 本と人の出会い、そして交流。 第3回健康まちライブラリー開催



持ち寄った本を使っでの自己紹介で盛り上がる参加者

5月14日(木)午後5時30分から、附属滝井病院南館2階臨床講堂において「第3回健康まちライブラリー」が開催され、57名が参加しました。滝井病院循環器腎内分泌代謝内科河野啓子診療講師司会のもと、参加者が「楽」をテーマに持ち寄った本を使い、互いの自己紹介でスタート。続いて透析センター正木浩哉センター長が『透析』を知らう』と題し、腎臓の機能や腎臓疾患の治療法、透析の種類・特徴に基づいて、透析患者のライフスタイルから腎臓疾患の予防法まで分かりやすく解説しました。

また、講演終了後は滝井病院南館7階透析センターの見学会を実施。ずらりと並んだ透析機器やベッドを見学しながら、河野診療講師の解説を聞き、人工透析に対する理解が深まった様子でした。

なお、この日参加者が持ち寄った32冊の本は「まちライブラリー」に寄贈され、南館7階の書棚に並ぶ予定です。



## 知恵の還元で、地域を元気に—— 大日でミニ市民公開講座を初開催



山本部長の講演に耳を傾ける参加者

5月30日(土)午前10時30分から守口市のサンマークスだいにち・コミュニティアリーナにおいて、附属滝井病院ミニ市民公開講座が初めて開催されました。これは、地域の方々に当院の知的資源を提供し、「健康づくり」のお手伝いを行うことが目的です。この日はマンション住民53名が参加しました。

まず初めに、来年5月オープン予定の新本館紹介の後、滝井病院看護部大久保緑糖尿病認定看護師が『食事と生活習慣病について』を講演。普段口にする調味料には意外に多量の糖分が含まれていることを紹介するなど、食生活の重要性を解説しました。また、続いて滝井病院循環器腎内分泌代謝内科山本克浩診療部長が『狭心症、心筋梗塞治療の最前線』と題し、狭心症・心筋梗塞の概要からその治療法・予防法までを解説。生活習慣病を防ぐためには「軽くても良いので運動を続けることが大切だ」と話しました。

講演終了後のアンケートでは継続的・定期的な開催を望む声も多く、初めての開催となったミニ市民公開講座は成功裏に幕を閉じました。

病 院

香里病院

第9回寝屋川市医師会・香里病院 地域連携の会



地域連携の会で挨拶する榊田医師会長

4月18日(土)午後4時から、ホテル・アゴラ大阪守口において寝屋川市医師会と香里病院との地域連携の会が開催され、寝屋川市医師会から31人、香里病院から40人が参加しました。冒頭、香里病院高山康夫病院長と寝屋川市医師会榊田理会長の挨拶の後、香里病院地域医療連携部高橋延行部長が座長を務める学術懇談会を開催。内科竹尾元裕診療講師が「臍体尾部切除を施行した臍性腹水の1例」について症例呈示した他、麻酔科松本早苗講師が「進化する気道確保法」、皮膚科上尾礼子診療講師が「難治性皮膚疾患の光線治療」、婦人科生田明子講師が「婦人科領域の急性腹症」と、3つの演題で講演が行われました。

続いて行われた懇親会では、寝屋川市医師会青山さつき副会長の発声による乾杯、4月から香里病院に着任した医師と地域医療連携部スタッフの紹介が行われ、和やかな雰囲気の中、盛況のうちに終了しました。

新しい治療方法をわかりやすく解説 — 香里病院市民公開講座を開催 —



沢山の市民が詰めかけた会場内

5月16日(土)午後2時30分から寝屋川市立地域交流センターアルカスホールにおいて香里病院市民公開講座が開かれ、寝屋川市民を中心に140人が集まりました。

冒頭香里病院高山康夫病院長から開会の挨拶の後、「新しい治療法について」をテーマに眼科埜本慎講師が座長を務め、講演がスタート。耳鼻咽喉科濱田聡子診療講師が「アレルギー性鼻炎の最近の治療について」と題して、鼻炎が起こるメカニズムや本学の耳鼻科で行っている舌下免疫療法などの治療を紹介、皮膚科上尾礼子診療講師が「光線治療と新しいレーザー治療について」と題して、光線治療の歴史から疾患ごとの治療経過などをわかりやすく紹介し、参加者は真剣に耳を傾けていました。

講演後の質疑応答では運動や食事と疾患との関係や、実際に疾患を治療している参加者からの質問がありました。最後に香里病院渡部幸広事務部長から、病床数を199床として紹介状が不要になったことや夕診など、香里病院の取り組みについての紹介とともに閉会の挨拶がありました。閉会後も演者に質問する参加者の姿が見られるなど、高い関心を集めた講演会となりました。

香里病院の夕方診療を充実 全7診療科で実施

本誌既報(Vol.29)の通り香里病院は病床数を1床減床し、199床となったことで紹介状を持っていない患者さんでも初診時の選定療養費(2,160円)が不要となりました。また、夕方診療(午後5時~7時)の充実にも取り組んでいます。現在は内科、小児科、血管外来(外科)、乳腺外科、腎泌尿器外科、耳鼻咽喉科、婦人科の全7診療科で夕方診療を実施(※詳細は右記表参照)。仕事帰りなどにも利用しやすい体制を構築し、患者さんのニーズにお応えしています。

香里病院はこれからも、地域密着型病院として進化していきます。

■香里病院 夕方診療一覧

診療科	月	火	水	木	金
内 科	○	○	○	○	○
小 児 科	○	○	○	○	○
血管外来(外科)	○	—	—	—	—
乳 腺 外 科	○	—	—	○	—
腎泌尿器外科	○	—	○	○	—
耳 鼻 咽 喉 科	○	○	—	○	○
婦 人 科	—	○	—	○	—

※…診療科・診療日程は変更される可能性があります。詳しくは香里病院受付、またはHPでご確認ください。

## 附属看護専門学校

### 看護の心に火を灯す—— “看護の日”に第35期生戴帽式举行



ナイチンゲール誓詞を朗唱する戴帽生

5月12日(火)午前9時から枚方学舎加多乃講堂において第35期生の戴帽式が、多数の来賓、教職員・在校生、保護者などの参列のもと挙行されました。

この日はナイチンゲール生誕の日であり、開式、校歌斉唱に引き続き、75名の学生一人ひとりにナースキャップが授けられ、聖火が手渡されました。その後順次アーチを作り、揃ってナイチンゲール誓詞を朗誦。戴帽生は看護の精神を深く心に刻み込みました。

続いて岡崎和一学校長、山下敏夫理事長の式辞の後、枚方病院澤田敏病院長と安田照美看護部長から来賓祝辞が述べられました。そして記念品と花束の贈呈、35期生代表の磯橋歩さんが誓いの言葉を述べ、ナイチンゲール賛歌斉唱と進み、厳粛な雰囲気の中閉会しました。

### 身近な犯罪から身を守る 防犯訓練講習会



実際に刺殺を用いた講習を受ける看護学生

5月13日(水)午後2時40分から、牧野キャンパス体育館において『ちかん撃退法・刺又取扱い等防犯訓練講習会』が開かれました。これは毎年大阪府警察の協力を得て開かれるもので、今年は看護学科1年生の81名が参加。枚方警察署生活安全課による枚方市内の犯罪発生状況に関する講話や、大阪府警生活安全指導班によるひたくり・ちかん対策のコメディ風寸劇が演じられました。府警の担当者はちかんなどに襲われた場合の対処法を話しつつ「ひと気のない場所には近づかないなど、まずは被害にあわないための心がけが大切」と講演。また、実演と実技を交えて護身術を学ぶ時間もありユニークな講演に笑いが起こりつつも、真剣な面持ちで受講する学生の姿が見られました。

## 公募推薦入試を新たに導入 — 平成28年度附属看護専門学校入学試験について —

今年度入試から新たに公募制推薦入試を開始します。詳しくはホームページをご覧ください。

#### 推薦入学試験(指定校及び公募)

- 募集人員
  - ・40名(公募・指定校推薦を含む)
- 出願期間
  - ・平成27年10月26日(月)～11月7日(土)
  - ※消印有効
- 試験日時
  - ・平成27年11月21日(土)午前9時開始
- 試験科目
  - ・学科試験(50分)
  - 国語：国語総合(漢文・古文除く)
  - 英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ
  - ・面接試験
- 試験場
  - ・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)
- 合格発表日
  - ・平成27年12月1日(火)

#### 一般入学試験(前期)

- 募集人員
  - ・30名
- 出願期間
  - ・平成27年12月1日(火)～12月19日(土)
  - ※消印有効
- 試験日時
  - ・平成28年1月8日(金)午前9時開始
- 試験科目
  - ・学科試験(各50分)
  - 国語：国語総合(漢文・古文除く)、現代文A
  - 英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ
  - 数学：数学Ⅰ(但し、「データの分析」は除く)
  - ・面接試験
- 試験場
  - ・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)
- 合格発表日
  - ・平成28年1月22日(金)

#### 一般入学試験(後期)

- 募集人員
  - ・10名
- 出願期間
  - ・平成28年1月25日(月)～2月6日(土)
  - ※消印有効
- 試験日時
  - ・平成28年2月23日(火)午前9時開始
- 試験科目
  - ・学科試験(各50分)
  - 国語：国語総合(漢文・古文除く)、現代文A
  - 英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ
  - ・面接試験
- 試験場
  - ・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)
- 合格発表日
  - ・平成28年3月2日(水)

出願書類など詳細は本校ホームページ (<http://www.kmu.ac.jp/nurscoll/juken/>) をご覧ください。

## 卒後臨床研修センター

## 平成28年度採用初期臨床研修合同説明会 『研修医と語ろう会』の開催



説明会に参加した学生

5月30日(土)午後3時から附属枚方病院13階講堂において、医学部5・6年生を対象とした初期臨床研修合同説明会が開催されました。昨年11月15日(土)に実施した説明会と同じ対象者が参加する今回は、少し趣向を変えて『研修医と語ろう会』と命名。参加者に身近な立場の研修医をゲストスピーカーとして招聘したところ、本学5学年30名・6学年39名に加えて他大学からも31名が参加。初めて100名を越える賑わいとなりました。

また、説明会終了後は同病院13階レストラン「のぞみ」に場所を移し、情報交換会を開催。約50名の指導医も参加し、終始和気藹々とした雰囲気の中で各診療科についての情報交換を図っていました。

## マイナビ2015 in Osakaに出展



当日の本学ブースの様子

5月17日(日)午後1時から大阪梅田ハービスホールにおいて、「初期研修医向け研修病院説明会」が開催され、本学もブースを出展しました。初のマイナビ主催イベントへの出展となった今回は、4時間の説明会中参加学生が途切れることなくブースを訪問。説明にあたった4名の研修医は休憩を取る間もなく、学生の質問へ丁寧に対応し、大いに本学における研修の良さをアピールしました。最終的に、来場者数416名(前年187名)のうち107名が本学ブースを訪れ、来訪率25.7%を記録。大盛況のうちに閉幕し、出展した法人・来場した学生共に満足度の高いイベントとなりました。

## 附属3病院合同で臨地実習指導者研修を開催



研修に取り組む参加者

5月9日(土)午前9時から附属枚方病院13階講堂において、附属3病院合同臨地実習指導者研修が開催され、対象者40名が参加しました。今回は、講師に大阪人間科学大学人間科学部健康心理学科石井京子教授を招聘。同氏は『聴き上手、話し方上手、引き出し方上手になろう!!』をテーマに、学生指導に必要なコミュニケーションスキルを解説しました。参加者は世代的な特徴を踏まえ、学生教育の問題点や科学的根拠に基づいた手法を学び、有意義な研修会となりました。

## 附属3病院合同で実地指導者研修を開催



フラフープを使った体験学習に取り組む参加者と、講師の木村氏(右端)

6月13日(土)午前9時から附属枚方病院13階講堂において、同20日(土)午前9時から附属枚方病院13階合同カンファレンスルームにおいて、附属3病院合同実地指導者研修が開催され、総勢83名が参加しました。今回は『実地指導者のためのリーダーシップ研修』をテーマに、Office SMC代表木村卓氏を講師に招聘。体験学習を通じて、コミュニケーションを円滑に進める手法や、チームワークを高めるノウハウなどを学びました。若手職員の指導者として必要な、リーダーシップを身に付ける実り多い研修会となりました。

## 同窓会

## 全国に広がる同窓会支部組織

関西医科大学同窓会理事 妹尾 次郎 (37回生)

創立87年の伝統ある関西医科大学は多くの卒業生が、全国に広がり、それぞれの地域で活躍し、同窓会支部が設置されている。

関西医科大学同窓会の会員数(1~83回生)は、今年の6月で7,913名(実在数6,040名 物故者1,873名)を数えている。同窓会は、昭和8年6月15日、当時大阪女子高等医学専門学校第1回卒業生によって始まり、同年11月10日に校友会会則が一部改正され同窓生事業部として誕生した。

昭和8年6月、80名の第1回卒業生に続いて2回生97名、3回生98名、計275名になった昭和10年、まず京都在住者によって春秋会と名付けられた同窓会京都支部が設立され発足した。続いて昭和15年に大阪と愛知(現・東海支部)、翌年に岡山で支部が設立された。さらに昭和17年には兵庫、奈良、高知、北九州に、昭和18年には北陸支部、翌年は山陰支部と卒業生の分布に応じて計10支部が設立された。各支部は相互の親睦と研鑽にそれぞれ特色ある支部会を開催していたが、戦時下となり支部の活動は一時休止の状態となった。

戦後は昭和21年に関東支部と山口支部が設立され、兵庫では会員増と地理関係で、姫路支部が独立することとなった。翌22年にいたり卒業生も1,500名を越し、他の地域でも支部の設立が進められ、滋賀、三重、岐阜、和歌山、香川、徳島、愛媛、鳥取、広島、長崎、大分、南九州、と相次いで支部が設立された。昭和33年には北陸支部より福井支部、その後長野、北海道にも支部が設立された。昭和40年には学内在籍者による学内支部。46年には新潟支部、57年には熊本支部が発足した。堺支部は昭和35年大阪支部に統合され、昭和35年に兵庫支部から独立していた淡路支部は平成12年に兵庫支部へ再統合された。平成13年には関東支部から静岡支部が独立。平成22年に熊本支部が福岡・佐賀支部と統合し、つづいて平成24年長崎支部も統合して九州北部支部となった。

現在同窓会は全国に30支部があり、それぞれの地域において特色ある活動を続けている。各支部会の開催に当たり、大学からはご多忙の中、理事長・学長はじめ教授のご臨席を賜り、また新しい大学の冊子や資料、時にはDVDの提供を受け、同窓会支部との絆がより一層深まってきている。

今年度は同窓会総会に先がけて平成27年5月23日(土)、各支部長と同窓会・加多乃会理事の懇親会がホテル・アゴラ大阪守口で、つづいて24日支部長会が枚方学舎4階カフェテリアで開催され、北海道から南九州まで出席された25名の支部長が、同窓会に対する要望や、支部会開催に対する地域の特性、会員の高齢化に伴う世代交代、大学に対する熱い思いなど話題は尽きず、活発に討議された。

なお、毎年1月の新年会は同窓会本部と、近在の支部(学内・大阪・兵庫・京都)が順に担当して開催している。

関西医科大学同窓会支部別会員一覧表

30支部(平成27年3月31日現在)

支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数
北海道	16	三重	82	島根	21
関東	212	京都	549	広島	124
静岡	51	奈良	187	山口	32
新潟	9	大阪	1678	香川	67
長野	17	学内	1035	徳島	44
北陸	52	和歌山	89	愛媛	43
岐阜	57	兵庫	608	高知	41
福井	34	姫路	87	九州北部	93
愛知	154	鳥取	22	大分	19
滋賀	90	岡山	98	南九州	36

## メディア情報

## 教職員メディア情報

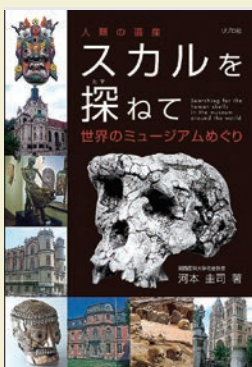
新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、また記事を掲載された教職員の方々を紹介します。

(主に平成27年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

小児科学講座 谷内 昇一郎 准教授	毎日放送 「ちちんぷいぷい」 (4月7日)	『石田ジャーナル―食物アレルギー対策の最前線―』において、専門家の指導で普及が進む“経口免疫療法”に関するコメントが紹介されました。
耳鼻咽喉科学・ 頭頸部外科学講座 朝子 幹也 准教授	読売新聞 (4月16日夕刊)	「医なび」コーナーにおいて花粉症が取り上げられ、花粉症の発症メカニズムや症状、治療法など、監修記事が掲載されました。
附属滝井病院 海外渡航者医療センター 西山 利正 センター長 (公衆衛生学講座教授)	産経新聞 (4月30日夕刊)	「おしえてドクター」コーナーにおいて、大阪府女医会が主催した市民公開講座(4.9開催)で行った講演『海外旅行と健康』の内容が紹介されました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	毎日放送 「医のココロ」 (6月6日)	白内障が起こる原因や発症した際の見え方を映像化し、点眼薬や手術など症状に応じた治療法を紹介。「50歳になったら健診を受けましょう」と呼びかけました。
精神神経科学講座 齊藤 幸子 助教	NHK Eテレ 「バリバラ」 (6月7日)	【生放送】アナタならどうする？職場編にVTR出演し、うつ病で休職していた部下が復帰後再び調子を崩した際の上司の接し方について、力動精神医学的な観点から解説しました。
外科学講座 海堀 昌樹 准教授	日本経済新聞 (6月21日朝刊)	手術を受けた患者さんの術後の負担を軽減する取り組みが取り上げられ、「術後の痛みを緩和することは患者の体力回復につながる」とのコメントと、痛みの緩和が術後の回復を早めることを示す比較データが掲載されました。
整形外科科学講座 菅 俊光 准教授	読売新聞 (6月30日朝刊)	連載企画「医療ルネサンス」において、脳卒中や脊髄損傷で動かなくなった体の回復力を引き出す医療機器の活用が取り上げられ、その取り組みが紹介されました。

\*このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

## 教職員著作出版情報



「スカルを探ねて(たずねて)」  
リブロ社(3,500円+税)

## 「スカルを探ねて(たずねて)」

河本 圭司 名誉教授

4月5日(日)河本圭司名誉教授の著作「スカルを探ねて(たずねて)」(リブロ社)が発刊されました。これは河本名誉教授が「シャレコーベ」(頭蓋骨)を求めて、約30年間に亘って世界中を飛び回った記録、というもの。ヨーロッパ・アフリカ・南北アメリカ・アジア・日本の5地域別に、博物館・美術館の基本データから由来、特徴、頭蓋骨関係の展示物紹介までまとめられています。頭蓋骨をテーマとしたコラムも掲載されており、学問的知識がなくても楽しめるのが魅力です。

また、5月8日(金)朝日新聞朝刊(兵庫版)にはこの著作と河本名誉教授の記事が掲載されました。同名誉教授は自宅敷地内に「シャレコーベ・ミュージアム」を開設しており、7,200点にも及ぶ収集品を展示していますので、興味のある方はぜひ一度足を運んでみてください。



朝日新聞に掲載された記事

## お知らせ

## 87回目の誕生日 関西医大創立記念日



オベリスク直下の銘板プレートと、枚方学舎正面玄関

6月30日(火)、1928年に大阪女子高等医学専門学校として枚方市で誕生した本学は、87回目の創立記念日を迎えました。創立以来、慈しみ・めぐみを心の鏡として医学教育・診療・研究に邁進した先人たちの努力と、地域住民・企業はじめ社会の支援のお陰で無事この日を迎えることができました。

また、枚方学舎正面に設置されたオベリスクには中央のスリットを通る太陽光が毎年6月30日の正午、真下にある大学名が刻まれたプレートに照らす仕掛けが施されています。今年は生憎の曇り模様ですっきりと輝くプレートは見られませんでした。山下敏夫理事長・澤田敏常務理事はじめ、多くの教職員が様子を見守っていました。

## 看護職募集のための、新キャラクター誕生 「関太くん」「小梅ちゃん」



「小梅ちゃん」(左)と、「関太くん」(右)

本学における看護師募集活動の一環として、新たにキャラクターが生まれました。男の子の「関太くん」と、女の子の「小梅ちゃん」の二人組です。学章の“梅”をモチーフにしており、聴診器と髪飾りが梅マークになっているのが特徴。また、枚方市発祥とされている七夕伝説にもとづき、流れ星に乗ってキラキラしたイメージを持たせています。

今後、「関太くん」と「小梅ちゃん」は看護師募集のための合同就職説明会・病院見学会などに登場していきます。

## 編集後記

子どもの頃“自分の未来が見えないこと”は、ワクワクする要素の一つでした。特にこの時期は、夏休みを前にしてこの先どんな“おもしろい”ことが湧き起こるのか、楽しみで仕方がない時期だった、ように思い出します。

ところが大人になり年輪を重ねていくと“未来が見えないこと”が不安の源になっている、ような気がします。仕事、人間関係、子育て、介護、老後…。子どもの頃は先が分からないから楽しみだったはずなのに、大人になると先が分からないから不安に——。何だか不思議に思う、今日この頃です。

さて、この春本学は新学長の誕生という大きな転換点を迎えました。この先友田新学長の下、本学はどんな未来を作り上げるのか。それは誰にも分かりません。ただ、だからこそ今は初心に帰って、“分からないこと”を楽しみにしたいと思います。(一)

平成27年5月15日発行の「関西医科大学 広報 Vol.29」に、以下の誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

P.29 「“災害”をテーマに教育講演会を開催」

【誤】 聖路加国際病院石川伸一副病院長・救急部部长

【正】 聖路加国際病院石松伸一副病院長・救急部部长

## ご意見・ご感想をお待ちしています

「関西医科大学広報」についてのご意見・ご感想は、下記奥付に記載してある連絡先に郵送いただくか、メールアドレス、電話番号までお願いします。皆様のご意見をお待ちしています。

## 関西医科大学広報 Vol.30

発行 学校法人 関西医科大学  
編集 法人事務局総務部広報課  
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1  
TEL 072-804-0101 (代表)  
FAX 072-804-2547

<http://www.kmu.ac.jp/>

E-mail : [kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)

平成27年8月13日(木)発行